

イド語初級講座

LA ELEMENTA LERNOLIBRO

skribita por Janoniani

PRI

LA INTERNACIONA LINGUO

IDO



「初めてのイド語」シリーズ第1部

Editerio, Tripeda Korvo, Japonia

はじめに

人工言語・イド語は、エスペラント語の補正版です。

エスペラント語の使用の間では、「エスペラント」という用語自体が、言語名なので、「語」を付ける必要はないと思われるでしょうが、初めて「エスペラント」という単語を聞く人にとって、何のことなのか、理解できません。あえて、「エスペラント語」という用語を使うことによって、「エスペラントという名前の言語」ということを強調することになるのです。ですから、「イド語」も同じように「イドという名前の言語」だということです。

「語」を付ける理由はもうひとつあります。

それは人工言語を学ぶ立場として、エスペラント語とも、イド語とも、距離をとって考えるために、あえてそうするのです。どちらの言語が優れているのかを考えるのではなく、どちらも客観的に考察していこうという立場です。

そもそも、エスペラント語を含む人工言語をとりまく状況は、決して明るいものではありません。

英語が、グローバル基準として定着しつつあり、事実上の世界共通語の立場を確立しつつあります。フランスでも、英語の影響が強まっていますし、英語がEUの事実上の共通語として機能しているありさまです。

そのような世界的趨勢の中で、いまさら、イド語を学ぼうと呼びかけること自体、馬鹿げたことかもしれないですね。しかも、一部のエスペラント語使用者からも、イド語は嫌悪されているしろものです。逆に、イド語使用者の中にも、エスペラント語を嫌っている人たちも多く、イド語がエスペラント語から派生してきた事実さえ、無視する傾向もあります。

そんな中で、イド語を学ぶ意義を訴える愚かな真似はいたしません。ただ、イド語を学んで見たいと手を挙げる人たちのために、学習資料を用意しましょうという「愚かな志」をもって、この「初めてのイド語」シリーズを世に問うのです。

このシリーズは「イド語初級講座」「イド語中級講座」「イド語上級講座」「イド語講座付録編」の4部作です。改めてお断りしておきますが、内容は、ネット上で公開した「はじめてのイド語」をベースにしたものにすぎません。それ以上でも、それ以下でもありません。

2018年6月25日

Verbum303

prefaco

Ido-linguo esas Esperanto-linguo revizita ultre un de lingui artificiala.

Parlanti qui uzas Espo(Esperanto-linguo) pensas ke "Esperanto" esas linguala nomo, do ke ne oportas adjuntar la termino "linguo". Ma ni darfus adjuntar "linguo" ad "Esperanto". Nam mem homi qui ne konocas ol ne povas komprenar ke "Esperanto" esas linguala nomo. Konseque anke Ido esas Ido-linguo.

Ni havas altra motivo adjuntar "linguo". Oportas objektala situo regardar lingui artificiala per le okulo apertita. Ni haltez judikar quo del lingui esas plu apta. On devas konsidar amba lingui sen prejudiko.

Dume ni devas obliviar ke cirkonstanco di le linguo artificiala ne havos bon-augura futuro. Pro ke Anglo-linguo nun divenas universala normo, ed ol esas establisante avantaĵoza stando kom la universala linguo. Mem en Francia, la influo de Anglo-linguo forteskas, ed Europana Uniono uzas Anglo-linguo kom efikiva komuna linguo.

Sub tala universala tendenco, forsan nia probo esus stupida.

Pluse relato di Ido ed Esperanto esas maxim mala. Esperanto-parolanti odias Ido-linguo.

Kontre to, anke Ido-parolanti ne prizas Esperanto-linguo e havas la tendenco por ignorar la historiala verajo ke Ido-linguo derivis de Esperanto-linguo.

En tala nefacilajo, ni ne argumentas pri signifiko di lernado-Ido.

Havante "stulta" espero, ma ni preparas pri la lernolibro por homi qui volas lernar Ido-linguo.

Ica serio de la verki konsistas ek quar parti: LA ELEMENTA LERNOLIBRO, LA MEDIACANTA, LA AVANIRANTA, LA APENDICO.

La unesma libro esas la introdukto por lernar Ido-linguo.

Me antee konfesas ke la omna kontenajo ja enskribesis sur interreto. Ol esas nek plu nek min.

4ma, julio, 2018

Verbum303

Takashi ITOH

イド語初級講座 第00課

アルファベット

イド語は英語のアルファベットと同じように26文字と、二組の子音群を用います。無音の文字はありません、全ての文字は必ず発音しなければならず、たとえ二つの文字がつながっていても発音されます。それぞれの文字は、他の音と区別される独自の音価を持っているのです。

子音

次の子音文字は、ほぼ英語の発音と同じです。

b d f k l m n p t v w z

それ以外の子音文字は次のように発音します。

子音文字	発音の仕方	IPA
c	英語の「bits」の「ts」。「ツァ、ツイ、ツ、ツェ、ツォ」と発音	/tʰs/
g	日本語の「ガ」行とほぼ同じ	/g/
h	日本語の「ハ」行とほぼ同じ	/h/
j	「ジャ、ジ、ジュ、ジェ、ジョ」と発音。シャ行を濁らせたもの	/ʒ/
r	巻舌のラ。江戸弁の「べらんめ～」というときの巻舌と似ている	/r/
s	「サ、スイ、ス、スエ、ソ」のように発音する	/s/
x	「ks」あるいは「gz」と発音する。どちらでも可です	/ks/, /gz/
y	「ヤ、イ、ユ、イエ、ヨ」と発音する	/j/
qu	「kw」と発音する	/kw/
ch	「チャ、チ、チュ、チェ、チョ」と発音	/tʃ/
sh	「シャ、シ、シュ、シェ、ショ」と発音	/ʃ/

母音

母音文字	発音の仕方	IPA
a	日本語の「ア」とほぼ同じ発音	/a/
e	日本語の「エ」とほぼ同じ発音	/e/, /ɛ/
i	日本語の「イ」とほぼ同じだが、「i」の後に他の母音があるとき、多少渡り音が入る。	/i/
u	日本語の「ウ」よりはっきりと発音	/u/
o	日本語の「オ」とほぼ同じ発音	/o/, /ɔ/

注意すること

- 1 母音の発音の長さには多少の変動の幅はありますが、長過ぎず短過ぎずに発音します。
- 2 長すぎる「ア」は避けましょう。曖昧な「エ」の発音は避けること。また「y」や「ee」音を加えてはいけません。
- 3 イド語の「i」音を、「eey」のような音にしてはいけません。

- 4 イド語の「i」音を、「eey」のような音にしてはいけません。
- 5 「o」音は、英語のように「oo」や「wo」となってはいけません。
- 6 「u」音は、英語のように「ユ」音になってはいけません。注意深く「ウ」と発音します。
- 7 それぞれの母音は明確に発音すること。英語のように曖昧な母音となってはいけません。

二重母音

二重母音は二つの母音の組み合わせからなる母音です。イド語には二種類の単純な二重母音があります。

二重母音	発音の仕方	IPA
au	「ア」と「ウ」からなる音で「アウ」と発音	/au/
eu	「エ」と「ウ」からなる音で「エウ」と発音	/eu/

注意

- 1 母音の前の「u」音は、「w」のような音になる傾向があります。例えば、「linguo」[リングォ]
- 2 母音の前の「i」音は、「y」のような音になる傾向があります。例えば、「pekunio」[ペクーニョ]
- 3 他の母音は、分離して発音しなければなりません。すなわち、「ai」は、「アイ」であり、「ae」は「アエ」となります。

アクセント

全ての英語の単語には強勢音節がすくなくともひとつありますが、どの音節にアクセントをおくかについてははっきりした規則はありません。どの音節でも可能なのです。

イド語では、一つの例外を除いて単純な規則があります。

すなわち「アクセントは常に最後の音節から2つ目の音節に置く」のです。

hun'do [HUN-do] ka'to [KA-to] lin'guo [LIN-gwo] fami'lio [fa-MI-lyo]

akade'mio [a-ka-DE-myo]

例外として、動詞の不定詞の場合（語尾「-ar, -or, -ir」で区別可能）には、明確に話すようにするため最後の音節にアクセントがあります。

Pozar' [po-Zar] drinkar' [drin-KAR] drinkor' [drin-KOR] drinkir' [drin-KIR]
donar' [do-NAR] donor' [do-NOR] donir' [do-NIR].

例

Amar' [a-MAR] kredir' [kre-DIR] finor' [fi-NOR] ama'ta [a-MA-ta]

kredi'ta [kre-DI-ta] fino'ta [fi-NO-ta] espere'ble [es-pe-RE-ble]

facin'da [fa-CIN-da] jo'yo [JO-yo] boa'o [bo-A-o] muze'o [mu-ZE-o]

hero'o [he-RO-o] di'o [DI-o] du'o [DU-o] fo'lio [FO-lyo]
li'lio [LI-lyo] men'tio [MEN-tyo] Ita'lia [i-TA-lyo]
a'quo [A-qwo] lin'guo [LIN-gwo] por'tuo [PORR-two]
re'vuo [RE-vwo]

発音の練習

(本文) Ka vu ja lernas la nova lin'guo internaciona?

(強勢表) ka vu ja LERR-nas la NO-va LIN-gwo in-terr-na-ci-O-na

(訳) もう、新しい国際言語を勉強していますか？

(本文) Me komencis studiar olu ante kelka dii,

(強勢表) me ko-MEN-cis stu-DYARR O-lu AN-te KEL-ka DI-i

(訳) 私はそれを数日前から勉強し始めました。

(本文) e me trovas ke olu esas vere tre faci'la.

(強勢表) e me TRO-vas ke O-lu ES-as VE-re tre fa-CI-la

(訳) そして、私はこれが本当にとっても易しいと気づきました。

(本文) Omna-die me lektas texto dum un horo;

(強勢表) OM-na-DI-e me LEK-tas TEX-to dum un HO-ro

(訳) 毎日、私は一時間の間、テキストを読んでいます。

(本文) me sempre lektas laute.

(強勢表) me SEM-pre LEK-tas LAW-te

(訳) いつでも私は大きな声で読んでいるのです。

* [laU-te]ではなく、[LAW-te]となる。これは二重母音。

(本文) Ka vu komprenas to?

(強勢表) ka vu kom-PRE-nas to

(訳) あなたはこの文章が分かりますか？

イド語アルファベットの名称

A	B	C	D	E	F	G
a	be	ce	de	e	fe	ge
アー	ベー	ツェー	デー	エー	フェー	ゲー

H	I	J	K	L	M	N
he	i	je	ke	le	me	ne
ヘー	イー	ジェー	ケー	レー	メー	ネー

O	P	Q	R	S	T	U
o	pe	que	re	se	te	u
オー	ペー	クウエー	れ～	セー	テー	ウー

V	W	X	Y	Z
ve	we	xe	ye	ze
ヴェー	ウエー	クセー	イエー	ゼー

さあ、始めましょう！

「学ぶのに年をとりすぎていることも、若すぎるといふこともありません」

この本の中では、義務的な「解答付き練習問題」をやる必要はありません。それは、おびたしく多くの、うんざりするような練習問題を使って数学を学習する時の方法です。

同じ方法ではいくら効果的に言語を学ぼうとしても言語を学びきれものではありません。

Por ke ni povez balde parolar Ido, oportas ke ni tre ofte lektez laute.

はやくイド語を話せるようになるために、声を出して読むことが必要なのです。

できる限り多くの回数、声を出して、講座のすべてのイド語文章を読んで下さい！

一日一課を勉強すれば、このすばらしい言語をマスターするのに十分でしょう。

ドイツの考古学者ハインリッヒ・シュリーマンが立証したように、できるだけ多く声を出して読むことは新たな言語を学ぶための王道です。

Maxim bone onu lernas linguo, se onu lektas olu laute tam ofte kam posibla.

できるだけ多くの回数、声を出してこれを読めば、もっとも上手に言語を学べます。

イド語初級講座 第01課

名詞

名詞は文字通り「名前」を意味します。それは、実際に見たり、聞いたり、触ったりできるものに属しており、例えば、テーブル、椅子、人、猫などと名前をつけることができます。

イド語では、その語が名詞なのかをすぐに見分けがつかず。それは、すべての名詞が語尾-oで終わっているからです。

イド語	kato	hundo	tablo
意味	ネコ	イヌ	テーブル

不定冠詞

英語には「a」と「an」の二つの不定冠詞があります。イド語にはありません。

イド語では「ovo」といえば英語の「egg」であり「an egg」を表し、また「tablo」といえば英語の「table」や「a table」などを表します。不定冠詞は必要ではなく、混乱も生じないことがすぐに分かるはず¹。

古代欧州の言語には冠詞はありませんでしたが²、どの名詞の事を話しているのかハッキリしない事が多かったのでしょう。指示詞から次第に定冠詞が作られました。不定冠詞は大概、数字の1から派生して来た様です。特別指示はしないが、リンゴ等の名詞を指して、その中の不定の一つという意味があったのです。

定冠詞

イド語の定冠詞は「la」です。

イド語	英語
matro	a mother
la matro	the mother

es 動詞

イド語の「esas」や「es」は、大雑把に言えば英語の「is」に相当します。しかし、「am」や「are」にも翻訳されるので、注意して下さい。単純に言えば、イド語で言っていることは、英語で「I is」や「he / she / it is」や「we is」と「they is」と同価値であるのです。

注意

「es」は「esas」の短縮形です。たとえ「es」が便利であったとしても、「esas」が普通の言い方です。学習者は自分の使う単語は好きなようにしてもかまいません。

練習問題

次の単語を暗記して下さい

1この説明は、英語話者向けに書かれたもの。

2ラテン語には定冠詞も不定冠詞もありませんが、古代ギリシア語は既に定冠詞を持っていました。

buxo (箱) domo (家) gardeno (庭) hundo (犬) kato (猫)
 muso (ネズミ) tablo (テーブル) esas/es (~である) me (私は、私
 を)
 vu (あなた) yuno (若者《10代の》) unulo (少年)
 yunino (少女)
 en (~の中に) sub (~の下に) sur (~の上に) la (その《定冠詞》)

例文

Maria esas/es yunino. (マリアは少女だ。)
 Karlo esas/es yunulo. (カルロは少年だ。)
 La domo esas/es en la gardeno. (その家は庭の中にある。)
 Me esas/es en la gardeno. (私は庭にいる。)
 Me esas/es en la domo. (私は家の中にいる。)
 Vu esas/es en la domo. (あなたは家にいる。)
 Vu esas/es sub la tablo. (あなたはテーブルの下にいる。)
 Hundo esas/es sur la tablo en la domo. (犬は家の中のテーブルの上にいる。)
 Rex esas/es hundo. (レックスは犬だ。)
 Wilhelm esas/es kato. (ウィルヘルムは猫だ。)
 La hundo esas/es en la domo. (その犬は家の中にいる。)
 La kato esas/es sur la tablo. (その猫はテーブルの上にいる。)
 La buxo esas/es sub la tablo. (その箱はテーブルの下にある。)
 La kato esas/es sur la buxo. (その猫は箱の上にいる。)
 La muso esas/es en la domo. (そのネズミは家の中にいる。)
 La muso esas/es en la buxo. (そのネズミは箱の中にいる。)
 La muso esas/es sur la tablo. (そのネズミはテーブルの上にいる。)

動詞—現在時制

動詞とは、行為あるいは行いの単語です。例えば、「見る」「読む」「触る」などです。これらは全て行為です。

イド語は、動詞も語尾によって簡単に見分けがつかます。この本の中で学ぶ動詞は、現在を示しており、語尾が「-as」です。

現在時制は、その動詞の行為が「今」おきている時に使われています。

Me vidas la hundo. (私はそのイヌを見ている。)

Vu tushas la kato. (あなたはそのネコを触っている。)

今現在におきている行為なので、現在時制が使われます。英語では、二つ以上の現在時制がありますが、それで混乱してはいけません。例えば「I touch the dog.」と「I am touching the dog.」

それについて考えれば、現在二つの行為がおきているのです。なぜなら、両方の行為の意味はとも似通っているから、イド語では同じ方式でその両方を言うのです。すわなち「Me tushas la hundo.」は、「私はイヌを触る人だ」のであり「私は（一時的に）イヌを触っている」のあり、「Me lektas la libro.」は、「私はその本を読む（人だ）」あるいは「私はその本を（たまたま一時的に）読んでいる」の両方の意味になります。

ですから、英語からイド語に翻訳するときは、特にこのことを忘れないで下さい。

「I am touching」や「you are reading」を逐語的に翻訳しないで下さい。

イド語で自然に考えることができるまで、頭の中で「私は触る」「私は読む」と変換してから翻訳することが一番いい方法です。

接続詞「ed / e」

英語の接続詞「and」は、イド語では「ed」になりますが、「d」は語根の部分です。もし、続く単語が子音字で始まるものであれば、「d」は欠落して「e」になります。公式的には、どちらを使ってもかまいません。どちらの響きがいいのかですね。実際上は、ほとんどのイディストたちは、子音で始まる単語が続くときは「e」を使い、母音で始まる単語が続くときは「ed」を使っています。これから学習する他の3つの単語「a/ad」、「o/od」、「ka/kad」にも同様に適用されますので注意して下さい。

単語集

drinkas (飲む)	havas (持つ)	lektas (読む)	manjas (食べる)
prizas (好きだ)	promenas (歩く)	regardas (見る《look》)	e/ed (~と)
tushas (触る)	vidas (見る《see》)	aquo (水)	fenestro (窓)
lakto (ミルク)	libro (本)	pomo (りんご)	pordo (ドア)
stulo (椅子)			

例文

Me havas hundo.	(私はイヌを飼っている。)
Me vidas la hundo.	(私はそのイヌを見る。)
La hundo vidas me.	(そのイヌが私を見る。)
Me prizas la hundo.	(私はそのイヌが好きだ。)
Me prizas lakto.	(私はミルクが好きだ。)
La hundo havas la lakto.	(そのミルクは、イヌのものだ。)
La kato drinkas la lakto.	(ネコがそのミルクを飲んでいる。)

Vu drinkas la lakto.	(あなたはそのミルクを飲んでいる。)
Me havas la pomo.	(私はそのりんごを持っている。)
Me manjas la pomo.	(私はそのりんごを食べている。)
La yuno manjas la pomo.	(その若者がりんごを食べている。)
Me regardas la muso.	(私はそのネズミを見ている。)
La muso vidas la aquo.	(そのネズミは水を見ている。)
La muso manjas la libro.	(そのネズミは本を食べている。)
La libro esas/es sur la tablo.	(その本はテーブルの上にある。)
Vu lektas la libro.	(私はその本を読んでいる。)
Vu lektas la libro.	(あなたはその本を読んでいる。)
kato regardas me.	(ネコが私を見ている。)
La kato regardas la pordo.	(そのネコがドアを見ている。)
Vu tushas la pordo.	(あなたはそのドアを触っている。)
La kato tushas la fenestro.	(そのネコは窓を触っている。)
Me tushas la fenestro.	(私はその窓を触っている。)
Me promenas en la gardeno.	(私はその庭の中を歩いている。)
Vu e la hundo promenas en la gardeno.	(あなたとそのイヌは庭を歩いている。)
La tablo e la stulo esas/es en la domo.	(そのテーブルと椅子が家の中にある。)

挨拶

Bona jorno	(こんにちは)
Til rivido	(さようなら)
Quale vu standas?	(元気ですか?)
Tre bone danko	(元気ですよ。ありがとう。)

一他のイディスト（イド語話者）に会ったら、あるいは会議や国際的な集まりに行った時などは、このシンプルな会話で始めてみましょう。

会話

ピーターとマリーの会話です。

P: Bona jorno!	(こんにちは!)
M: Bona jorno!	(こんにちは!)
P: Quale vu standas?	(お元気ですか?)

M: Tre bone, danko. Quale vu standas? (とても元気ですよ。ありがとう。あなたはどうか?)

P: Tre bone, danko. (元気です。ありがとう!)

M: Til rivido! (さようなら!)

P: Til rivido! (またね!)

練習問題

この会話の言い回しを練習して下さい。

あなたの知っているイド語を使って考えて下さい。ドアに触れてみて下さい、そうして独り言で「Me tushas la pordo」と言ってみて下さい。本を読んで下さい、そして「Me lektas libro」と言うんですよ。できるだけ学んだ単語を多く入れて…。

☆この講座にある全てのイド語の文章を声を出して、できるだけ多くの回数、読んで下さいね。

イド語初級講座 第02課

形容詞

形容詞は何かの状況や質を描写する単語です。すなわち、大きい、小さい、悪い、美しい、赤い、など。下記の単語集のように、イド語の形容詞はその語尾「-a」によって簡単に認識できます。

語彙

drinkajo (飲み物)	floro (鼻)	kavalo (馬)	manjajo (食べ物)
por (~のために)	muso (ネズミ)	plado (皿)	tasoj (カップ)
dormas (眠る)	kompras (売る)	lernas ¹ (学ぶ)	habitas (住む)
parolas (話す)	pozas (置く)	anciena (古い) ²	olda (老いた) ³
bela (美しい)	blua (青い)	granda (大きい)	mikra (小さい)
reda (赤い)	yuna (若い)	anke (また)	hike (ここ)
mea (私の)	vua (あなたの)	adhike (ここに/へ)	adsur (上の方に)

例文

Vu lernas Ido.	(あなたはイド語を学んでいる。)
Vu parolas Ido.	(あなたはイド語を話している。)
Me lernas Ido.	(私はイド語を学んでいる。)
Me parolas Ido.	(私はイド語を話している。)
Me havas bela domo.	(私は美しい家を持っている。)
Mea domo esas/es granda.	(私の家は大きい。)
La domo esas/es granda.	(その家は大きい。)
Me habitas hike.	(私は底に住んでいる。)
Me dormas en la gardeno.	(私はその庭で寝ています。)
Mea hundo esas/es olda.	(私のイヌは老いています。)
Mea hundo anke habitas hike.	(私のイヌも底に住んでします。)
La hundo dormas en mea mikra gardeno.	(そのイヌは私の小さな庭で寝ています。)

1 [LERR-nas]

2 (新しいに対して) 古い

3 (生き物の) 老いた

La mikra kato regardas la granda hundo.	(小さなネコは大きなイヌを見えています。)
Vu habitas en bela domo.	(あなたは美しい家に住んでいます。)
Vu dormas sur la bela tablo.	(あなたは美しいテーブルの上で寝ています。)
La kato dormas sub la bela floro.	(そのネコは美しい花の上で寝ています。)
La kavalo esas/es olda.	(その馬は老いています。)
La mikra kavalo esas/es yuna.	(その小さな馬は若い。)
La yuna kavalo prizas la drinkajo.	(その若い馬は飲み物が好きだ。)
Vu kompras manjajo por la kavalo.	(あなたは馬のために食べ物を買う。)
Me kompras manjajo hike.	(私はここで食べ物を買う。)
Me pozas vua plado adhike.	(私はあなたの皿をここに置く。)
La plado esas/es reda.	(その皿は赤い。)
Me pozas manjajo adsur la plado.	(私は食べ物をその皿の上に置く。)
La olda muso manjas la manjajo. る。)	(その老いたネズミはその食べ物を食べてい る。)
Drinkajo esas/es en la mikra taso.	(飲み物がその小さなカップの中にある。)
La blua taso esas/es sur la tablo.	(その青いカップはテーブルの上にある。)
Vu vidas la muso en la taso.	(あなたはカップの中にネズミを見つけた。)
Vua lakto esas/es anke en la taso.	(あなたのミルクもそのカップの中にある。)
Me pozas la libro adsur la muro.	(私はその本を壁の上に置く。)

否定

イド語の否定は「ne」を使って作られます。「ne」は否定の意味です。英語では「I am not」や「I must not」や「I have not (I haven't)」と言いますが、イド語では普通、動詞の前に「ne」をおいて、語順は次のようになります。

「Me ne es」 「 Me ne havas」

しかし「Me ne mustas」に関しては、注意が必要です。

Me NE mustas irar adibe. 不必要を表す (私はいく必要はない。)

Me mustas NE facar to. 禁止を表す (私はそれをしてはいけません。)

英語のほとんどの動詞は、否定表現を補助するために「does」「do」などを付け加えます。例えば、
「I 'do' not have (I don't have).」 「 Peter 'does' not read (doesn't read).」

しかし、イド語ではそのような(補助)語は全く必要ありませんし、イド語の否定文に、決して入れてはいけません。

イド語は全ての否定表現で同じパターンを使い、単純に次のように言います。

「Me ne havas」 「Peter ne lektas」

派生 形容詞から名詞へ

語尾「-a」の形容詞は、語尾「-o」となることにより、同じ意味を持つ名詞になります。

bona → bono

良い 良いもの、良い人

yuna → yuno

若い 若い物、若者

acesora → acesoro

付属の 付属品、アクセサリー

逆に（名詞→形容詞）

oro → ora

黄金 黄金製の

例文

Me esas/es （私は～である）

Me ne esas/es （私は～でない）

Me havas （私は～を持っている）

Me ne havas （私は～をもっていない）

Me vidas （私は～を見る）

Me ne vidas （私は～を見ない）

Me prizas （私は～が好きだ）

Me ne prizas （私は～が嫌いだ）

Me promenias （私は歩く）

Me ne promenias （私は歩いていない）

Me ne esas/es olda.

（私は老いていない。）

Me ne vidas vu.

（私はあなたを見ていない。）

Vu ne vidas me.

（あなたは私を見ていない。）

Me ne prizas la domo.

（私はその家が嫌いだ。）

Me ne manjas la manjajo.

（私はその食べ物を食べる。）

La hundo ne parolas Ido.

（そのイヌはイド語を話さない。）

Vu ne habitas en London [LON-don].

（あなたはロンドンに住んでない。）

La hundo ne lernas Ido.

（そのイヌはイド語を学ばない。）

Maria ne habitas en Paris [pa-RI].

（マリアはパリに住んでない。）

Vu ne regardas Maria.

（あなたはマリアを見つめていない。）

Vu ne lektas la libro.

（あなたはその本を読まない。）

La plado ne esas/es en la domo. (その皿は家の中にある。)
 La hundo ne regardas la kavalo. (そのイヌは馬を見つめていない。)
 La kato ne dormas en la buxo. (そのネコは箱の中で寝ていない。)
 La yuno ne drinkas la lakto. (その若者はミルクを飲まない。)

語彙

bruna (茶色い) chasas (追い回す) do (故に) dop (背後に)
 ek (~から) elu (彼女) felica (幸せな) feroca (獰猛な)
 fisho (魚) foresto (森) gazoneyo (芝生) grosa (太った)
 hodie (今日) ilu (彼) magra (痩せた) nun (今)
 ofte (たびたび) sama (同じ) strado (通り) tre (大いに)
 trista (悲しい) adsur (~の上へ)

例文

Felix esas/es magra olda kato. (フェリックスは痩せて老いた猫だ。)
 Ilu habitas dop vua domo en la foresto. (彼は森の中のあなたの家の後ろに住んでいます。)
 Ilu ofte promenas en mea granda gardeno. (彼は私の大きな庭の中をたびたび散歩する。)
 Ilu ofte dormas sur mea gazoneyo. (彼は私の芝生の上でしばしば寝ている。)
 Hodie Felix chasas grosa bruna muso. (今日、フェリックスは太った茶色のネズミを追いかけて回す。)
 Hodie Felix ne havas manjajo. (今日、フェリックスは食べ物を持っていない。)
 Ilu esas/es tre trista. (彼はとても喉が渇いている。)
 Do me pozas fisho por ilu adsur plado en la gardeno. (それで私は魚を彼のために庭の中の皿の上に置く。)
 Nun Felix esas/es tre felica. (今、フェリックスはとても幸せだ。)
 Maria vidas Felix. (マリアはフェリックスを見る。)
 Elu ne prizas Felix e chasas ilu ek mea gardeno. (彼女はフェリックスが嫌いなので、私の庭から追い出します。)
 Felix esas/es sur la strado. (フェリックスは通りの上にいる。)
 Rex esas/es feroca hundo. (レックスはどう猛な犬だ。)

Ilu anke vidas Felix. (彼はまたフェリックスを見ている。)

Rex chasas ilu. (レックスは彼を追い回す。)

会話

ここで文法的な要点をいくつか学べるでしょう。

Bona matino!	(おはよう！)
Bona jorno!	(こんにちは！)
Quale vu nomesas?	(お名前はなんと言いますか？)
Me nomesas Petro.	(ペーターと言います。)
Quale vu standas?	(ご機嫌いかがですか？)
Tre bone.	(元気ですよ。)
Me dankas!	(ありがとう！)
Ka vu esas fatigita?	(あなたは疲れていますか？)
Tote ne!	(全く疲れていませんよ。)
Yes, kelkete.	(はい、少し。)
No, sioro.	(とんでもありません。)
Me pregas.	(どうぞ！《よろしければ》)
Me hungras.	(お腹がへった。)
Ka vu durstas?	(あなたはのどが渴いていますか？)
Donez a me glaso.	(私にグラスを下さい。)
Taso de teo.	(カップ一杯のお茶)
Ka vu deziras...?	(～してほしいですか？)
Me ne objecionas.	(気にしていません。)
Ne importas.	(重要ではありません。《問題ない》)

形容詞 語尾-a の省略

調子よくはなすために形容詞の語尾「-a」を省略してもかまいません。

会話

ペーターとマリーのもうひとつの会話です。

P: Bon jorno! Quale vu standas? こんにちは！ ごきげんいかが？

M: Tre bone, danko. E vu? とても、いいよ、ありがとう。君は？

P: Me standas bone, danko.

Me nomesas Petro. Quale vu nomesas?

M: Me nomesas Maria.

P: Til rivido, Maria!

M: Til rivido, Petro!

僕は元気だよ、ありがとう。

僕はピーターと言うんだ。君の名前は？

私はマリアという名前よ。

またね、マリアさん！

さようなら、ペーター！

イド語初級講座 第03課

疑問文

これまでのところ、「Me vidas la kato.」とか「Me tushas la hundo」というようなイド語の平叙文をつくってきました。今度は、疑問文をどのようにつくるかを考える時間となりました。英語では二つの定式があります。すなわち、

1) いくつかの動詞は、語順を変えることで、疑問文に変えることができます。

例：「I must」→「Must I?」 「He is」→「Is he?」 「They can」→「Can they?」

2) 文章のはじめに「do」や「does」を入れることで、疑問文に変わる動詞もあります。

例：「He sings」→「Does he sing?」 「You come」→「Do you come?」

イド語では、疑問文への変更はとても簡単です。まず、それまでの文と全く同じ語順を維持しますが、疑問とは尋ねられることであるという点を明確にするために、「ka」とか「kad」という語を文章の初めに入れます。英語には「ka/kad」に相当する語はありません。「Vu havas kato」（あなたはネコを飼っている）を疑問文にすると、「Ka vu havas kato?」（あなたはネコを飼っているの?）

「Me manjas ovo」（私は卵を食べている）→「Ka me manjas ovo?」（私は卵をたべている?）」

注意

母音字で始まる単語が続く場合は、「kad」を使うことが普通となっていますが、強制ではありませんし、続く語にかかわりなく「kad」を使ってもかまいません。

「Ilu mustas」→「Kad ilu mustas?」

また、英語の「who」「where」などに相当する語があれば、「ka/kad」は使いません。

Ube vu habitas?（あなたはどこに住んでいますか?）

Kad vu komprenis?（わかりましたか?）

語彙

a	(～へ)	ad	(～へ)	(母音字で始まる単語の前で)			
arboro	(木)	bona	(良い)	blanka	(白い)	bruna	(茶色い)
	ibe	(そこ)					
iras	(行く)	jupo	(スカート)	mala	(悪い)	nigra	(黒い)
no	(いいえ・否定)	ol/olu	(それ・代名詞)				
parko	(公園)	policisto	(警察官)	ponto	(橋)	rivero	(川)
portas	(運ぶ・身につけている)	ucelo	(鳥)	venas	(来る)		
yes	(はい・肯定)						

例文

Me esas/es	私は～です
Ka me esas/es?	私は～ですか？
Ilu esas/es	彼は、～です
Kad ilu esas/es?	彼は～ですか？
Vu havas	あなたは、持っている
Ka vu havas?	あなたは持っているのか？
Ka me esas/es bona?	僕はいい感じかな？
No.	だめだよ。
Ka vu esas/es bela?	あなたは綺麗かな？
Yes.	綺麗よ。
Ka Maria portas bela jupo?	マリアは素敵なスカートをはいていますか？
Yes, elu portas bela blanka jupo.	ええ、彼女はすてきな白いスカートをはいています。
Ka la policisto esas/es en la parko?	警官は公園にいますか？
Kad ilu esas/es en la parko?	彼は公園にいますか？
No, ilu ne esas/es hike hodie.	いいえ、彼は今日、ここにいません。
Ka vu havas nigra hundo?	あなたは黒い犬を飼っていますか？
No, me havas bruna hundo.	いいえ、わたしは茶色のイヌを飼っています。
Ilu drinkas. Kad ilu drinkas?	彼は飲んでいる。彼は飲んでいますか？
Ka vu havas kato?	あなたはネコを飼っていますか？
Yes, me havas blanka kato.	はい、私は白いネコを飼っています。
Kad elu venas?	彼女は来ますか？
No, elu iras a la ponto.	いいえ、彼女は橋へ行きます。
Ka la ucelo drinkas?	鳥が鳴いていますか？
Ka la ucelo esas/es sur la ponto?	その鳥は橋の上にありますか？
No, olu ne esas/es ibe.	いいえ、そこにはいません。
Elu manjas. Kad elu manjas?	彼女は食べている。彼女は食べていますか？
Kad elu manjas fisho?	彼女は魚を食べますか？
Ka la fisho esas/es en la aquo?	その魚は水にいますか？
Yes, olu esas/es en la aquo, e la hundo anke.	はい、水の中にいますし、イヌもいます。

複数

英語では二つ以上のものについて語っていることを示すために、通例、「s」を加えます。例えば、「cat」は「cats」、「pig」は「pigs」などです。

イド語で、複数はとても簡単です。名詞の語尾「-o」を「-i」に変えるのです。例外はありません。「kato」は「kati」、「hundo」が「hundi」になります。

ラテン語が東西に分かれた時に、フランス語、スペイン語、ポルトガル語等の西の言葉は複数形を -s で表し、イタリア語等の東の言葉は -i で表す様になりました。英語の複数形が -s なのはフランス語の影響です。但し、語末の -s 音は消え易く、フランス語では既に消失し、中南米のスペイン語でも消失しかかっています。その点、語末の -i は耳にしっかりと聞こえますので、単数形か複数形か聞いて間違える事はありません。但し、英語の -s は比較的強い音なので、複数形の認識が比較的楽ではありますが…。

形容詞は変化なしです。しかし名詞を使わずに、形容詞が名詞的になるとき、必要になる場合は、複数形になります。

blanka hundi	nigra kabali	La blanki e la nigri
白い犬（複数）	黒い馬（複数）	白いものと黒いもの

複数のための定冠詞「le」

他の複数形の印がない時、複数定冠詞「le」が使われます。

le yes e le no	賛成と反対
blanka hundi	白い犬（複数）
nigra kavali	黒い馬（複数）
le blanka e le nigra	白いものと黒いもの（それぞれ複数）

例文

単数	複数	単数	複数
kato	kati	tablo	tabli

Me vidas la kato.	ネコ（一匹）が見えます。
Vu vidas la kati.	ネコ（複数）が見えます。
La kati esas/es sur la tabli.	そのネコはテーブルの上にいる。
La kato dormas dop la flori.	そのネコは花の上で寝ている。
La libri esas/es nigra.	その本は黒い。（複数の本）
Kad ilu prizas pomi?	彼はりんごが好きだ。
La parki esas/es bela.	その公園は美しい。

Maria prizas blanka jupi.	マリアは白いスカートが好きだ。
Ka vu havas bela jupo?	あなたは素敵なスカートを持っていますか？
La fishi esas/es en la aquo.	その魚は水の中にいる。
La policisti ne esas/es grosa.	その警官たちはでかくない。
La policisti chasas la yuni.	その警官たちは若者たちを追いかけている。
La musu chasas la kato.	そのネズミはネコを追いかけている。
La uceli esas/es en la arbori.	その鳥（複数）はその木々の上にいる。
La uceli esas/es sur la ponti.	その鳥（複数）は橋の上にいる。
Ka la yuni esas/es en la arbori?	その若者たちが木々の中にいますか？
La kavali drinkas la aquo.	その馬たちが水を飲んでいる。
La flori esas/es en la taso sur la tablo.	その花はテーブルの上のカップの中にある。

命令形

動詞の命令形は語幹に -ez を付けて作ります。アクセントは -ez の前の音節に来ます。

apertez [a-PERR-tez], donez [DO-nez], klozez [KLO-zez] の様になります。

語彙

Apertez (開けなさい)	donez (下さい)	irez (行きなさい)	klozez (しめなさい)
pozez (置きなさい)	levez (上げなさい)	sideskez (座りなさい)	
staceskez (立ちなさい)			

例文

Staceskez!	立ちなさい!
Sideskez!	座りなさい!
Apertez la buxo!	箱を開けなさい!
Manjez la pomo!	りんごを食べなさい。
Apertez la libro!	本を開きなさい!
Apertez la pordo!	ドアを開けなさい!
Klozez la libro!	本を閉じなさい!
Klozez la fenestro!	窓を閉じなさい!
Tushez la stulo!	椅子に触りなさい!

Tushez la fenestro!	窓に触りなさい！
Drinkez vua kafeo!	自分のコーヒーを飲みなさい！
Levez la libro!	本を拾いなさい！
Levez la stulo!	椅子を片付けなさい！
Levez la krayono!	鉛筆を拾いなさい！
Donez la libro a me!	私に本を下さい！
Pozez la taso adsur la tablo!	カップをテーブルの上に置きなさい！
Pozez la plado adsur la stulo!	皿を椅子の上に置きなさい！
Pozez la krayono adsur la tablo!	鉛筆をテーブルの上に置きなさい！
Pozez la libro e la krayono adsur la stulo!	本と鉛筆を椅子の上に置きなさい！

動物

次の語は雄か雌のどちらかになることができます。その区別は、これからの課で作ります。

anado (鴨)	bovo (牛)	cervo (鹿)	elefanto (ゾウ)
gorilo (ゴリラ)	hano (ニワトリ)	hundo (イヌ)	kamelo (ラクダ)
kato (ネコ) (ワニ)	kapro (ヤギ)	kavallo (馬)	krokodilo
leopardo (ヒョウ)	leono (ライオン)	muso (ネズミ)	mutono (羊)
porko (豚) (熊)	tigro (トラ)	simio [SI-myo] (猿)	urso
volfo (狼)			

イド語初級講座 第04課

造語法「-in-」「-ul-」

性を表す接辞

(例)

-in- (女性・雌)	yunino (少女)	kavalino (雌馬)	hanino (雌鳥)
-ul- (男性・雄)	yunulo (少年)	kavalulo (雄馬)	hanulo (雄鶏)

今のところ限られた単語だけしかないと感じているかもしれませんが、しかし、イド語では、接辞の論理的な利用によって、僅かな努力であなたの語彙力を格段に向上させることができます。

例えば、「yuno」(若者)を「少年」「青年」という意味の「yunulo」に変えることができます。

「-ul」を付け加えれば、人や動物は「男性(雄)」になるのです。

「kato」は「katulo」(オス猫)、「hundo」は「hundulo」(オス犬)になります。

「女性(雌)」にするためには、「-in」を使います。

「yunino」(少女)、「katino」(メス猫)、「hundino」(メス犬)などです。

さあ、もっと例をあげてみましょう。

	男性	女性
filio (子ども)	filiulo (息子)	filiino (娘)
kuzo (いとこ)	kuzulo (従兄弟)	kuzino (従姉妹)
sekretario (秘書)	sekretariulo (男性秘書)	sekretariino (女性秘書)
doktoro (医者)	doktorulo (男性医師)	doktorino (女性医師、女医)

必要な場合、接頭辞「ge-」を使って、女性と男性が融合して「通性」にします。

Geavi 祖父母 gefilii 息子娘たち

しかし、「両親」は「gepatri」とはならず、例外的に「genitori¹」となります。

なぜ、「gepatri」とならないかと言うと....

イド語では、父は「patro」、母は「matro」です。そのため、「gepatri」や「gematri」はおかしいですね？

将来、同性愛者同士の家庭では、その子供たちが、自分の両親をこの様に呼ぶ可能性があるかも知れません…。

1 ラテン語の「genitor」(親)が語源。

注意点

名詞の性は、英語と同様に、イド語でも示されないままになっています。したがって、人や動物の性を明確にしたい時にだけ、「-ul-」「-in-」を使って下さい。不必要に、これらの接辞を使ってはだめです。

接辞の完全なリストは、いくらかは役立つイド語辞典の中にあります。

(イド語講座付録 第31課および第32課)を参照してください。

語彙

avan (～の前に)	butiko (店)	che (～のところで・家や仕事の)
dentisto (歯科医)	familio [fa-MI-lyo] (家族)	frukto (果物)
karno [KARR-no] (肉)	karno-vendisto (肉屋)	hundulo (オス犬)
katino (メス犬)	kavalino (雌馬)	kavalulo (雄馬)
kirko [KIRR-ko] (教会)	ma (しかし)	mediko (医者)
musino (雌ネズミ)	musulo (雄ネズミ)	nur (ただ～だけ)
preferas (～の方を好む)	staciono (駅)	ruro [RU-rro] (田舎)
spozino (妻)	spozulo (夫)	urbo [URR-bo] (都市)
vendas (販売する)	vendisto (販売員)	yunino (少女) yunulo (少年)

例文

Maria esas/es yunino.	マリアは少女です。
Karlo esas/es yunulo.	カルロは少年です。
Ilu havas hundulo.	彼はイヌを飼っています。
Pomo esas/es frukto.	リンゴは果物です。
Me kompras nur katino.	私はメス猫だけを買います。
Me ofte iras a la urbo.	私はしばしば都会へ行きます。
Me ofte iras che la dentisto. ²	私はしばしば歯医者に行きます。
La karno-vendisto vendas karno.	肉屋は肉を売ります。
Alan esas/es che la mediko.	アランは今、医者に掛かっています。
Me ne kompras olu che la mediko.	私は医者では、それを買いません。
Vua spozulo nomesas Jankin. ³	あなたの夫はジャンキンという名前です。

² 英訳すると「I often go to the dentist's.」。独立所有格をつかった表現の場合、イド語ではフランス語風に前置詞「che」をつかって表現します。

³ nomesas=esas nomata 接辞「-es」は受動態を表します。後の課で詳しく勉強します。

Mea spozino iras a la butiki.	私の妻はその店へ行きます。
Hodie Lezlia iras a la butiki.	今日、レズリアはその店に行きます。
Elu kompras karno por la familio.	彼女は自分の家族のために肉を買います。
La kavalino ne esas/es en la ruo.	その雌馬は、その田舎にはいません。
Ilu vendas la kavalulo en la urbo.	彼は都会でその雄馬を買います。
Paulo prizas karno, ma Rogerio preferas fisho. 方が	パウロは肉が好きですが、しかしロゲリヨは魚の好きです。
Me ne kompras mea fisho che la frukto-vendisto.	私は果物屋で自分の魚を買いません。
La kirko esas/es en la urbo avan la staciono.	教会は駅の前前の街にあります。
Me kompras blanka musino e bruna musulo por vu. あなた	私は白い雌ネズミと茶色の雄ネズミをあなたのために買います。

所有

英語には「誰かが何かを所有している」ということを表現するために2つの方法があります。

例えばロジャーが本を持っているとしたら、その本を指して「Roger's book」あるいは「the book of Roger」のように言うことができます。また、私の妻がネコを所有しているならば、「my wife's cat」あるいは「the cat of my wife」といいます。

しかし、イド語では所有を表す方法はひとつだけです。それは英語の「of」に相当するイド語「di」を使います。そのため「Peter's book」は、「the book of Peter」のように言い換えて、イド語として「la libro di Peter」になります。また、「my wife's cat = (the cat of my wife)」は、「la kato di mea spozino」になります。

例文

La hundo di Maria.	マリアのイヌ。
La domo di Petro.	ペテロの家。
La kato di la yunino.	その少女のネコ。
La karno di la kato.	そのネコの（所有している）肉。
La karno di la hundo.	そのイヌの（所有している）肉。
La kato di Maria.	マリアのネコ
La libro di Maria.	マリアの本。
La taso di mea spozulo.	私の夫のカップ。
La familio di la yunuli.	その若者たちの家族。
La manjajo di la familio.	その家族の食べ物。

La hundo di la yunulo.	その少年のイヌ。
La familio di la mediko.	その医師の家族。
La domo di la instruktisto.	その教師の家。
La yunini di ca skolo.	この学校の少女たち。
La kato di Filipo.	フィリポのネコ。

量

英語の「of」に相当する単語がイド語にはもうひとつありますが、それは何かの量を表すために用いられています。（「di」は所有を表す場合のみです）。

例えば、「a cup of coffee」は、コーヒーの量であって、コーヒーに所属しているカップではありません。また「a stock of books」は、本の（在庫）量であって、本に所属しているものではありません。

量の場合の英単語「of」に相当するイド語単語は「de」となりますので、「a stock of books」はイド語では「stoko de libri」です。また「a cup of coffee」はイド語では「taso de kafeo」になります。

「de」と「di」を混同しないように気をつけて下さい。

例

buxo de pomi.	リンゴ箱
taso de teo.	カップ一杯のお茶
taso de kafeo.	カップ一杯のコーヒー
glaso de lakto.	コップ一杯の牛乳
glaso de aquo.	コップ一杯の水
botelo de vino.	ボトル一本のワイン
botelo de lakto.	ビン一本の牛乳
familio de mediki.	医者ばかりの家庭

語彙

adube （どこへ？）	askoltas （耳を傾ける・他動詞）	atraktiva （魅力的な）
biro （ビール）	bone （良く）	botelo （瓶）
di （～の・所有）	do （では）	de （～の・量）
instruktisto （教師）	skolo （学校）	instruktas （教える）
ca （この・形容詞）	cadie （今日・副詞）	teo （お茶）
		vino （ワ
		li （彼ら・ ilu, elu, olu の複数形）

例文

Li instruktas bone.

彼らは上手に教えます。

Elu regardas yunulo.

彼女は少年を見ている。

Elu regardas botelo.

彼女は瓶を見ている。

Li esas/es tre mala yuni.

彼らはとても悪い若者です。

La yunulo havas botelo de biro.

その少年はビール瓶を持っています。

La instruktisti di ca skolo esas/es bona.

この学校の教師たちはすばらしい。

Olu esas/es la botelo de biro di la instruktisto.

それはその教師のビール瓶です。

La yunulo e la yunino drinkas la biro.

その少年と少女はビールを飲んでいます。

Li ne askoltas e do li ne lernas.

彼らは聞いていないのだから、学んでい
のです。

ない

La atraktiva yunino ne askoltas la mala instruktisto.
を

その魅力的な少女は。下手な教師には耳
傾けません。

会話

En la drinkerio [drin-KE-ryo] パブにて

Petro: Bon vespero, Maria! Quale vu standas cadie?

ペテロ: こんにちは、マリアさん。今日はごきげんいかが？

Maria: Me standas bone, danko. Quale vu standas?

マリア: ありがとう、いいわよ。あなたは、いかが？

Petro: Tre bone, danko.

ペテロ: 元気だよ、ありがとう！

Maria: Adube ni iras?

マリア: どこへ行くの？

Petro: Ni iras a la drinkerio. La drinkerio nomesas la Nigra Porko. Mea amiki dicas ke olu esas/es tre bona drinkerio.

ペテロ: パブに行くところだよ。「黒ぶた」というパブさ。友達によると、とってもすばらしいパブだってさ。

Maria: Me ne savas ube la Nigra Porko esas. Ube olu esas, Petro?

マリア: 「黒ぶた」がどこにあるのか、知らないわ。ペテロさん、どこにあるの？

Petro: Olu esas/es dop la domo di Sioro Jones, la dentisto.

ペテロ: 歯医者 ジョネスさん宅の後ろだよ。

Maria: Me rare iras a ta strado.

マリア: その通りにはめったに行かないわ。

Petro: Ho, me ofte iras a ta strado, e me ofte drinkas biro en la Nigra Porko.Ha! Yen olu!
Ka vu deziras biro, Maria?

ペテロ: えーっ！ 僕はその通りには時々行くし、「黒ぶた」でビールも飲むよ。あつ、君も、ビール欲しくない、マリアさん。

Maria: Ka vu havas pekunio?

マリア: お金持っているの？

Petro: Ho, yes! Cadie me havas pekunio.

ペテロ: もちろんさ！ 今日、お金あるよ。

Maria: Do, me deziras glaso de biro.

マリア: それじゃ、ビール一杯、飲みたいな。

語彙 (果物など)

butro (バター) fabo (マメ) fisho (さかな) flor-kaulo (カリフラワー)

fromajo (チーズ) karno [KARR-no] (肉) karoto (にんじん) ovo (卵)

kaulo [KAw-lo] (キャベツ) konfitajo (ジャム) kukombro (きゅうり)

latugo (レタス) margarino (マーガリン) mustardo (マスタード)

onyono (玉ねぎ)	pano (パン)	pipro (胡椒)	pizo (えんどう豆)
rosto-pano (トースト・パン)	salu (塩)	sauco [SAw-co] (ソース)	
karno-sauco [KARR-no-SAw-co] (肉汁)		sociso (ソーセージ)	
sukro (砂糖)	supo (スープ)	tarto [TARR-to] (タルト)	
terpomo [terr-PO-mo] (じゃがいも)		tomato – [to-MA-to] (トマト)	
torto [TORR-to] (パイ)	vinagro (酢)	yen (ほれ、ここに)	

会話例

Donez a me forketo.

フォークを下さい。

Me ne havas kuliero.

僕にはスプーンがありません。

Ta kultelo ne esas akuta.

そのナイフは鋭くない。

Pasigez a me la salo.

私に塩を下さい。

Kad vu voluntus⁴ pasigar la pano?

パンをとっていただけませんか？

Adportez a me botelo de nigra biro.
下さい。

スタウト（黒ビール）一瓶、持ってきて

Kad vu deziras glaso de flava biro?
すか？

エール（ビール）グラス一杯、いかがで

Me drinkas nur aquo.

僕は水だけを飲んでます。

Kad vu esas ne-alkoholisto?

あなたは、お酒は一滴も飲まないの？

Kad vu deziras salado?

サラダはいかがですか？

Yen bela latugo.
すよ。

ほら、ここに、おいしいレタスがありま

Kad vu prenas oleo e vinagro?

オイルと酢を使いますか？

Yen la pipro e la salo.

ほら、ここに、胡椒と塩がありますよ。

英語の「teetotaller」は、「（自分の意志で積極的に）お酒を飲まない人」という意味です。その意味からイド語に翻訳すれば「anti-alkoholisto」（禁酒主義者）となりますが、日本語の「下戸」では単に「お酒を飲めない人」という意味になります。イド語で「ne-alkoholisto」といえば、「お酒を飲まない人」となり、日本語の「下戸」に近い表現になるかもしれません。

4 voluntar volunt/ar: [自] [他] 快く...する,進んで...

イド語初級講座 第05課

人称代名詞

今までに、ほとんどの人称代名詞を紹介しましたが、ここで、わかりやすいように表にしてみました。

	単数		複数
一人称	me		ni
二人称	親称	tu	vi
	敬称	vu	
三人称	男性	li (ilu)	li
	女性	el (elu)	
	中性	ol (olu)	
	通性	lu	
不特定	on (onu)		

性を明らかにしたくない時は、「lu」あるいは「li」、「oli」をつかいます。

もともと「oli」は、(文法的)性を持っていないので、性を隠すために「li」を使う必要がありません。

不特定人称代名詞「on」「onu」の複数形を表現したいときは、非公式的ですが、(自らの責任のもとで)「oni」を使うこともできます。

必要ならば、三人称複数形は、三人称単数の完全形を使って、文法的性を示すこともできます。

すなわち、「ili」(三人称男性複数形)、「eli」(三人称女性複数形)、「oli」(三人称中性複数形)です。

「lu」は「il」「el」「ol」の通性であり、複数形は「li」になります。

これは、次のような文章では都合が良いのです。

「もし、読者がもっと詳しく知りたいと思うならば、彼/彼女に(その読者に)×××頁を見るようにさせなさい」(If the reader desires fuller details, let him or her (lu) turn to page XXX.)

「onu」もしくは「on」は不特定の人、人々、誰かを意味します。英語では「one」「they」「people」です。

人称	文法的性	単数	複数
三人称	男性	ilu	ili
	女性	elu	eli
	(中性)	olu	oli
	通性	lu	li
不特定	なし	on / onu	(oni)

Onu/On dicez to quon on volas.

誰かに自分の好きなことを言わせなさい。

再帰代名詞は「su」

これは、英語の「himself」「herself」「itself」「themselves」に相当します。複数形も「su」となります。

Ilu lavas su.

彼は自分の体を洗います。

Li lavas su.

彼らは自分たちの体を洗います。

Ilu manjis sua pomi, elu manjis sui.
す。

彼は自分のリンゴを食べ、彼女は自分のを食べます。

しかし、一人称や二人称は「su」を使用しません。

Me lavas me.

私は自分の体を洗います。

Vu lavas vu.

あなたは自分自身を洗います。

注意点

「tu」はただ一人だけに向けられた言い方で、指定された人への親愛の情を示すので、特別な環境のもとでしか使われません。例えば、a)家族の中で、b)親しい友人の間で、c)小さな子どもに話しかける時、d)おそらく動物やペットに話しかける時も…

「vu」も一人の人だけを引き合いに出します。英語の「you」に相当します。

「vi」は二人以上の人に対する言い方で、「tu」と「vu」の両方の複数形です。

例文

Ka vu esas/es bona?

君は上手ですか？

Me esas/es dentisto.

私は歯医者です。

Vu esas/es mediko.

あなたは医者です。

Tu esas/es bela.

君はキレイです。

Olu esas/es en la domo.

それは家の中にあります。

Vi esas/es bona mediki.

あなたは良い医者ですか？

Ilu havas bona amiko.

彼は良い友達ですか？

Ni lektas vua libri.

私たちはあなたの本を読んでいます。

Elu prizas bela flori.

彼女はキレイな花が好きです。

Li chasas la kavali.

彼らは馬を追いかけています。

時制

前の課では、行為が現在起きていることを示す現在形動詞（語尾「-as」）を使ってきましたが、その語尾を「-is」にかえることで、過去時制を作ることができます。

elu kantis. 彼女は歌いました（歌っていました）。

me manjis. 私は食べました（食べていました）。

語尾「-is」は過去に起きた行為や起きている行為のために使われます。そのため様々な形で英語に翻訳される可能性があります。

一つの時制をもつ様々な英語の意味合いですべてをカバーすることは混乱の原因になると思うかもしれませんが、まれにそんなことが起こるかもしれませんが、その混乱の可能性を避ける別の表現については後で学ぶことになるでしょう。語尾「-is」は過去を表す唯一の表現方法ではありませんが、この方法が最も簡単で便利なのです。

動詞

動詞の現在不定詞は、「-ar」が語尾になります（「-ar」にアクセント）。

kredar [kre-DARR] 信じる

donar [do-NARR] 与える

現在時制は語尾「-as」で終わります。

me kredas [KRE-das] 私は信じています。

me donas [DO-nas] 私は与えます。

過去不定詞は語尾「-ir」で終わります。（「-ir」にアクセント）

kredir [kre-DIRR] 信じていた

donir [do-NIRR] 与えていた

過去時制は語尾「-is」で終わります。

Me kredis [KRE-dis] 私は信じていた

Me donis [DO-nis] 私は与えていた

（イド語初級講座 第09課を参照してください）

語彙

ek （中から） fabrikerio [fa-bri-KE-ryo] （工場） fantomo （幽霊）

foresto (森)

heme (家で) malada (病気の) multa (多い) nova (新しい)

pro (～のために) queris (引き出した) restis (とどまる、残る)

tro (あまりに～すぎる) wiskio (ウイスキー) nam (なんとならば)

pro ke (なぜならば)

例文

Me esas.	私は～である
Me esis.	私は～だった
Me havas.	私は～を持っている
Me havis.	私は～を持っていた
Ni iras	私たちは行く
Ni iris	私たちは行った
Ilu iris	彼は行った
Me iras	私は行く
Me iris	私は行った
Me vizitis	私は訪れた
Ilu vizitis	彼は訪れた
Ilu manjis.	彼は食べた
Me manjas.	私は食べている
Elu laboras.	彼女は働いている
Elu laboris.	彼女は働いた
La hundo drinkis.	その犬は飲んだ
Ilu havis granda kuko.	彼は大きなケーキを持っていました。
Me anke drinkis wiskio.	私もウイスキーを飲みました。
Li lektis multa libri.	彼は多くの本を読みました。
Me iris a la foresto.	私はその森へ行きました。
Me vizitis la fabrikerio.	私はその工場を訪れました。
Me iris a la nova drinkerio.	私は新しいパブへ行きました。
Olu drinkis wiskio.	それがウイスキーを飲んでいました。
Ni iris aden la gardeno.	私たちはその庭に入りました。

Me drinkis tro multa wiskio.	私はとても多くのウイスキーを飲みました。
La nova instruktisto vidis vi.	新任の教師があなた達に会いました。
Me promenis ek la urbo.	私はその街から歩いて出て行きました。
La mediko restis heme.	その医者は家に残っています。
Mea hundo queris la mediko.	私の犬はその医者連れてきました。
En la foresto me vidis fantomo.	その森の中で、私は幽霊を見ました。
Elu ofte laboris en la fabrikerio.	彼女はしばしば工場で働きました。
Me esis malada pro la wiskio.	私はそのウイスキーで気分が悪かったです。
Ma la mediko esis anke malada ed ilu ne venis. んでし	しかし、その医者も具合が悪かったので、来ませんでした。

語彙

ante nun (以前に)	amiko (友達)	dii (数日)	facas (~する)	facila (易しい)
fine (ついに)	horos (時間)	ja (すでに)	kelka (いくらかの)	
komencis (始めた)	komprenas (理解する)	kordiala (心からの)		
kurta (短い)				
lektas (読む)	laute (大声で)	lernas (学ぶ)	letro (手紙)	
linguo (言語)	nova (新しい)	omna-die (毎日)	pose (後で)	
saluto (挨拶)	sempre (常に)	skribas (書く)	studiar (研究する)	
texto (原文、テキスト)	traduko (翻訳)	trovas (見つける)	dum (~の間に)	
ye (前置詞) 意味不特定)				

手紙

Pri linguo internaciona 国際語について

Ka vu ja lernas la nova linguo internaciona?

もう、新しい国際語を学んでいますか？

Me komencis studiar olu ye kelka dii ante nun, e me trovas ke olu esas vere tre facila.

僕は数日前からそれを学び始めてました、そして、それが本当にとっても簡単だとわかりましたよ。

Omna-die me lektas texto dum un horo;

毎日、僕は一時間の間、テキストを読んでいます。

me sempre lektas laute, nam oportas ke ni tre ofte lektez laute.

僕はいつも大声で読んでいますが、なぜなら大声で読まなければならないことが必要だからです。

Pose me facas kurta traduko e fine me skribas letro en la nova linguo.

その後、僕は短い翻訳をやって、ついに新言語で手紙を書いていますよ。

Ka vu komprenas to?

(この手紙の意味が) 分かりますか？

Kun kordiala saluto, Via amiko,

心からの挨拶を添えて、あなたの友人より

造語法 「-er-」 「-ist-」 「-ism-」 「-an-」 「-ier-」

いくつかの役立つ接辞を紹介します。

-er- 常習的に何かをしている人、アマチュア

fumero 喫煙者 vojagero 旅行者

fumar タバコを吸う voyajar 旅行する

-er- 常習的な行動によって特徴づけられた生物もしくは事物

reptero 昆虫 remorkero タグボート

reptar 這う remorkar (舟などを) 綱で引く

-ist- 職業的に何かをする人を意味する

koquisto コック instruktisto 教師 skribisto 作家

artista 芸術家 dentisto 歯科医 fotografisto (職業的) 写真家

比較：「fotografero」は、アマチュアの写真を意味します。

-ist- また、これは政党の支持者や、思想の学派を表す

Idisto イド語話者 komunisto 共産主義者

socialisto 社会主義者 idealisto 理想主義者

-ism- 組織、教義、政党

socialismo 社会主義 Katolikismo カテキズム¹

-an- コミュニティや国や都市や集団の一員

partisano 党員 societano 社会の一員 Parisano パリ市民

Kanadano カナダ人

-ier- あることで特徴づけられる人あるいは事物

pomiero 林檎の木 roziero バラの木 milioniero 大富豪

-ier- これはいくつかの単語ではホルダーを意味する

plumiero ペンホルダー sigariero タバコのパイプ

注意

全ての接尾辞は活用している単語の語根に付け加えられます。つまり、文法的な語尾は削除されます。

語根 接尾辞が追加される

skribas (書く) skrib skribisto (作家)

polico (警察) polic policisto (警察官)

語彙

chambro (部屋) desneta (汚れた) dormo-chambro (寝室) facis (作った、した)

fakte (実際に) fratulo (兄弟) heme (家で) hemo (家庭)

kande (いつ?) koquas (料理する) koquero (料理人) laboris (仕事を
した)

ledro (なめし革) ma (しかし) matro (母) neta (清潔な)

netigas (掃除する) nia (私たちの) nun (いま) nur (ただ~だ
け)

plastiko (プラスチック) puero 子ども (青春期までの7年間の) restas (滞在する)

shuo (くつ) shu-fabrikerio (くつ工場) tota (すべての)

単一の文法的性の単語

ひとつだけの文法的性 (ジェンダー) しか持たない単語が、少数ながら存在します。

これまで見てきたように、生きているものには接尾辞「-ul-」や「-ino-」をつけることで男性、女性に

¹ カテキズムとは「カトリック教会の教えの内容」のこと

することができます。これには本来、例外はないのですが、単一の文法的性の二、三の単語が、イド語の中にはあるのです。

Patro	matro	viro	muliero
父	母	(大人の) 男性	(大人の) 女性

造語法「-id-」「bo-」

役立つ接辞がいくつかあります。

-id 子孫を表す

Izraelido イスラエル人 イスラエル (=ヤコブ) の子孫

bo- 姻戚関係を示す

bopatro 配偶者の父、義父

例文 (Mea Matro=私の母)

Mea matro restas heme. Elu laboras en la hemo. Elu netigas la chambri.

私の母は家にいます。家の中で仕事をしているのです。部屋を掃除します。

Me esas/es neta, ma mea fratulo esas/es tre desneta.

私はきれい好きだけど、兄はとても不潔なんです。

Do la matro ofte netigas nia dormo-chambro.

だから、母は僕達の寝室をしばしば、掃除をするんです。

Fakte la matro netigas la tota domo. Elu anke koquas por ni.

実は、母は家中を掃除するんです。また、母は私たちのために料理をします。

Elu esas/es tre bona koquero.

彼女はとても料理上手です。

Kande me esis puero, elu laboris en la shu-fabrikerio.

僕が少年の頃、彼女は靴工場に働いていたことがありました。

Elu facis shui ek ledro e plastiko.

革とプラスチックから靴を作っていました。

Nun elu ne laboras en la fabrikerio ma elu laboras nur por ni.

今は工場で働いていませんが、私たちのためだけに働いています。

Elu esas/es tre bona matro.

彼女はとてもすばらしいお母さんです。

副詞

副詞とは、ある行為がいつ、どこで、どのように行われている（行われた、行われるだろうか）ということを描写する単語です。「彼は働いた」という例をあげれば、「彼が働いた」のは「よく働いた」なのか「粗末な仕事をした」、あるいは「速やかに働いた」のか「しばしば働いた」などを、描写することになるかもしれません。

英語ではほとんどの副詞は「-ly」で終わっていますが、しかし全てそうではありません。それと同等な語尾は、イド語では「-e」になります。イド語のすべての形容詞は、語尾「-a」を「-e」に取り替えることで、副詞にすることができます。

形容詞

mala（悪い）

rapida（速やかな）

danjeroza（危険な）

副詞

male（下手に）

rapide（速やかに）

danjeroze（危険なほどに）

語彙

rapida e（速い） celanta（優秀な） ecelante（立派な） multa（多い）

multe（たくさん） treno（列車）

例文

Ilu laboras bone.

彼はよく働きます。

Ilu instruktas male.

彼は教えるのが下手です。

La puero esas/es bona.

その子どもはいい子です。

La instruktisto esas/es mala.

その先生は下手です。

La treno iris rapide.

その列車は速く走りました。

Elu koquas ecelante.

彼女は上手に料理します。

Li multe prizas kuki.

彼らはケーキが大好きです。

Ni vidis la rapida treno.

私たちは高速の列車を見ました。

La koquistro esas/es ecelanta.

そのコックはすばらしい。

Ilu havas multa amiki.

彼には多くの友人がいます。

語彙

alumeto (マッチ)	butiko (店)	butikisto (小売店主)	certe (確かに、もちろん)
chanco (機会)	desfortunoza (不運な)	fino (最後)	
helpas (助ける)	hiere (昨日)	kliento (客)	kun (~と一緒に)
matino (朝)	merkato (市場)	monato (年月の) 月	obliviis [ob-LI-vyis] (忘れた)
pagas (支払う)	paketo (小包)	pro (~のために)	pro quo (なぜ)
quon (何を(対格))	sempre (いつでも)	servas [SERR-vas] (役立つ)	
sigareto (紙巻たばこ)	vakanco (休暇)	vetero (天候)	
ye (意義不特定の前置詞)			

会話 En la butiko (お店にて)

B = Butikisito (店主)

M = Maria (マリア)

B: Bon matino, Maria! Quon vu deziras?

店主: おはよう、マリアさん!何か、ご入用ですか?

M: Bon matino, Sioro Harris!

マリア: おはよう、ハリスさん。

Me deziras paketo de sigareto e buxo de alumeti por mea matro, ed anke botelo de lakto.

母のためにタバコ一箱、マッチ一箱、そして牛乳一ビンもお願いね。

B: Ka vu pagas nun o ye la fino di la monato?

店主: 支払いは今かな、それとも月末かな?

M: Me ne pagas nun. Me obliviis mea pekunio.

マリア: 今じゃないわ。お金を忘れてきたもの。

Fakte, Petro havas olu, e

実はね、ペテロがお金持ってるんだけど、この市場にいるの。

Ka Siorino Harris ne helpas vu hodie?

ハリスさんの奥様は、今日、お手伝いしないのかしら？

B: No, elu havas vakanco. Elu iris hiero a London.

店主： そうなんだ、休暇中さ。彼女は昨日、ロンドン行きさ。

M: Elu certe havas bona chanco. La vetero es bela.

マリア： きっと、絶好の機会だわ。天候はいいもの！

Pro quo vu ne iris kun elu?

なぜ、一緒に行かなかったの？

B: Pro la butiko. Me restas hie e servas la klienti.

店主： お店のためさ。僕はここにおいて、お客さまにサービスするのさ。

M: Butikisti es tre desfortunoza.

マリア： お店のご主人って、とっても運がないのね。

B: Yes, ni sempre laboras.

店主： そうさ、僕はいつも働いているのさ。

イド語初級講座 第06課

疑問代名詞（その1）

最初は少しむずかしく感じるかもしれませんが、注意深く勉強するならば、そうでもありませんよ。

Qua regardas me? 誰が私を見ているの？

Qua amas il? 誰が彼を愛しているの？

上の例から、「qua」は、英語の「who」を意味するものだと分かるでしょう。もし、「who」が二人以上であるならば、イド語で「qui」を使います。

Qui regardas me? 誰（複数）が私を見ているの？

Qui amas il? 誰（複数）が彼を愛しているの？

未知の対象物や事物の場合は、「quo」を使います。これは英語の「what」に相当します。

Quo esas/es en la buxo? この箱の中には何が入っているの？

Quo eventis? 何が起こったの？

注意）英語では疑問文になる時は語順が変わりますが、イド語では変わりません。

例文

Qua ilu esas? 彼は誰ですか？

Qua esis malada? 誰が病気なんですか？

Quo esas/es en la gardeno? 庭にあるのはなんですか？

Qua facis la laboro di Georgio? 誰が、ゲオルギョの仕事をしたのですか？

Qua amas la olda kavalo? 誰が、その老いた馬を愛しているのですか？

Quo manjas mea pomi? 私のリンゴを食べているのは何ものですか？

Qui venis ad'hike kun la hundo? 誰が犬とここに来ましたか？

Qui lernas Ido en ca skolo? 誰がこの学校でイド語を学んでいるのですか？

Qui iris a la skolo kun blanka muso? 白いネズミを持って、学校に行ったのは、誰ですか？

Qua vizitas la amiki di la olda butikisti? 老いた店の主人の友達を訪問したのは誰ですか？

数詞

un	du	tir	quar	kin	sis	sep	ol	non	dek
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

例文

Me havas dek kati.	私は10匹のネコを飼っています。
Me havas un fratulo.	私には兄が一人います。
Non yunini vizitis me.	九人の少女が私のところを訪問しました。
Mea fratulo vidis tri uceli.	私の兄弟が3匹の鳥を見えています。
Qua havas du boteli de biro?	ビール二本持っているのは誰ですか？
La hundo manjas kin kuki.	その犬がケーキ5個食べています。
Elu ne kompras sis pomi.	彼女はリンゴ6個を買いません。
Ni havas nur quar neta shui.	私たちは4足のキレイな靴を持っています。
Ka sep flori esas/es en la gardeno?	庭に7本の花がありますか？
La domo di Maria ne havas ok fenestri. せん。	マリアの家には10窓（そう）*1の窓（まど）はありません。

造語法 「-ey-」

「-ey-」は、ある事物や行為に充てられた場所を表す接辞で、多くの基本語の構造の中で使われています。

pregeyo	koqueyo	tombeyo
祈祷堂	台所	墓地
pregar（祈る）	koquar（料理する）	tombo（墓）

kavaleyo	hundeyo	viteyo
馬小屋	犬小屋	ぶどう園
kavalo（馬）	hundo（犬）	vino（ぶどう酒）

この接辞は他の一般的な種類にも同じように使われています。

lerneyo	lojeyo	dormeyo
教室	住居	寄宿舎
lernar（学習する）	lojar（泊まっている）	dormar（眠る）

他でも「-eyo」単語の意味を自分で練習して下さい。

この接尾辞の意味はかなり広いので、その意味が要求するところで特別な単語が使われています。例えば、「lerneyo」であれば、「universitato（大学）」とか「skolo（学校）」、「pregeyo」であれば、「katedralo（大聖堂）」とか「kirko（教会）」などです。

造語法 「-uy-」

「-uy-」は容器をあらわす接尾辞です。

inkuyo	kafeuyo	teuyo	sigaruyo
インクつぼ	コーヒー入れ	箱茶筒, 茶缶	葉巻箱

「-i-」は行為の領域、範囲をあらわす接尾辞です。

Dukio	komtio	episkopio
公爵領	伯爵領	司教領 (管区)

「-ed-」は、「～いっぱい」「～に応じた量」を意味する接尾辞です。

bokedo	pinchedo	glutado
一口分	ひとつまみ分	ひと飲み分

語彙

イド語の「rezidas」は、「住む」とか「駐留する」という意味です。しかし、次の二つの単語は「rezidas」よりも特定された意味を持っています。

すわなち、「lojas」は限定された期間、(誰か別の人の家などに)「泊まる」という意味になります。

また、「habitas」は(自分の家などに)永続的に「居住する」という意味です。

On lojas tempe (kurte) che altra persono od en gasteyo.

一時的に(短い期間)他人のところに、あるいは客室に泊まります。

On habitas permanente en propra o fixa domo.

自分の家か、固定した家に居住します。

On habitas urbo, che amiko, parento, en apartamento, en chambro, e.c.

都市、友達のところ、親のところ、アパート、部屋などに居住します。

laboras (働く) trovas (見つける) sidas (座る)

例文

La drinkerio esas/es vua laboreyo. 居酒屋があなたの仕事場です。

La pueri esas/es en la kavaleyo. 子どもたちが馬小屋にいます。

Mea hundo ne habitas en hundeyo. 私の犬は犬小屋に住んでいません。

Ni havas fisheyo en nia gardeno.	私たちの庭の中に魚の住む池があります。
La domo havas bela koqueyo.	その家にはすばらしい台所があります。
La yuni manjas en la manjeyo.	子どもたちが食堂で食べています。
Elu ne trovis sideyo.	彼女は座席を見つけられませんでした。
Mea domo esas/es la rezideyo di multa musikoj.	私の家はたくさんのネズミたちのすみかです。
Li ne trovis drinkejo por la kavali.	彼らは馬の水飲み場を見つけられませんでした。
Li ne havas dormejo en la skolo.	その学校では宿舎がありません。

「dum」 と 「en」 について

次のような違いがあるので、注意して下さい。

Me manjis dum la nokto.	私は一晩中食べていました。（一晩を通して）
Me manjis en la nokto. (1)	私はその夜に食べていました。（その夜の複数の異なった時間に）

「o」 と 「od」 について

「e」「ed」と同じように、「od」は普通、次に来る単語が母音で始まる時に使われ、子音で始まる時に「o」がつかわれます。

造語法（ニュアンスを伴う形容詞）

「-al-」は、「～に属する」とか「～に関係する」という意味の形容詞を形成します。

ですから、日本語の[一的]にあたります。そのモノではありませんが、それに近いという意味です。

universala （普遍的な）	racionala （合理的な）
universo （宇宙）	raciono （理性）
linguo inter'naciona	= エスペラントやイド語の様な国際語
linguo inter'nacionala	= 英語やスペイン語の様な国際的言語

「-oz-」は、「～に満ちている」「～を含む」「～豊かな」を意味します。

poroza （穴だらけの）	sabloza （砂の多い）	kurajoza （勇敢な）	famoza （有名な）
poro （穴）	sablo （砂）	kurajar （勇気ある）	famo （名誉）

「-em-」は「～する傾向がある」を意味します。

babilema （話好きの）	ociema （鯛だな）	laborema （勤勉な）
-----------------	--------------	----------------

babilar (しゃべる)	ociar (暇である)	laborar (働く)
----------------	--------------	--------------

「-ik-」は「～にうんざりして」「～で苦しんでいる」を意味します。

ftiziiko (肺病患者)	artritiko (関節炎)	alkoholiko (アルコール中毒)
ftizio (肺病)	artrito (関節炎)	alkoholo (アルコール)

「-atr-」は「～のような」「～によく似た」「～じみた」を意味します。

sponjatra (スポンジのような)	haratra (毛のような)	verdatra (緑がかった)
sponjo (海綿)	haro (毛)	verda (緑の)

「-e-」は、「～の外見を持っている」「～という色の」を意味します。

rozea (ピンク色の)	violea (すみれ色の)	musea (ねずみ色の)
rozo (バラ)	violo (スミレ)	muso (ハツカネズミ)

語彙

armeo (軍隊) automobilo (自動車) biciklo (自転車) divenis (～になった)
 dormeyo (ねぐら) konduktas (運転する) grandega (巨大な) kamiono (トラック)
 kamionisto (トラック運転手) pos (～の後に(時間)) patro (父)
 posdimezo (午後) soldato (軍人) vespero (夕方) ipsa (…自身)
 lito (ベット) milito (戦争) nokto (よる) od/o (または)
 pri (～について) dum (～の間) sen (～なしに)

物語 Mea Patro (私の父)

Mea patro esis soldato dum la milito.

私の父は戦争中、軍人でした。

En la armeo ilu lernis pri automobiloj e kamionoj.

軍隊で彼は自動車とトラックについて学びました。

Ilu konduktis kamioni. Pos la milito ilu divenis kamionisto.

彼はトラックを運転しました。戦後、彼はトラック運転手になりました。

Ilu nun konduktas grandega kamioni. Ilu konduktas dum la matino e dum la posdimezo.

彼は今、巨大なトラックを運転したいです。彼は朝も午後も運転します。

Ofte ilu konduktas kamioni dum la vespero e la nokto sen dormar.

しばしば彼は夕方も夜も眠らずに運転しています。

Kande me esis puero me ofte iris kun ilu en la kamiono. Ni vizitis multa urbi.

少年の頃、私は時々、トラックに乗って父と一緒に行きました。多くの都市を訪れたことがありました。

Dum la nokto ni dormis sur lito en la kamiono od en dormejo por kamionisti.

夜を通して、私たちはトラックの中のベットやトラック運転手の宿で眠ったものでした。

Me ipsa ne konduktas automobilo. Me esas/es tro yuna. Me havas biciklo.

私自身は自動車を運転しません。私は若すぎるのです。私は自転車を持っています。

語彙

aparas (現れる)	autuno (秋)	brilas (輝く)	ca (この)
dop (~の後ろに (場所))	desaparas (消える)	horizonto (水平線、地平線)	
jorno (日、昼間)	kantas (歌う)	kolda (冷たい)	kovrilo (毛布)
lana (ウールの)	luno (月)	nepluse (もはや)	plura (幾つかの)
printempo (春)	somero (夏)	stelo (星)	suno (太陽)
tante (それほどの) (温かい)	trovas (見つける)	ucelo (鳥)	uzas (使う) varma
venas (来る) (如何に)	vintro (冬)	sama ... kam (~と同じだ)	quale

例文

Quar varma nokti. 4 日間の熱い夜

Non bruna uceli. 9 羽の茶色の鳥

Pos tri vesperi 3 日間の夕方

Dek grandega matri.	10人の大きなお母さんたち
Sis steli brilas.	6つの星が輝いている。
Ok lana kovrili.	10枚のウールの毛布
La sama sep kovrili.	7枚の同じ毛布
Du malada soldati rezidis hike.	二人の悪い兵士がここに居住していました。
Kin kavali dormis en ca lito.	5匹の馬がこのベットで寝ていました。
Un feroce olda kato esis sub la lito.	一匹のどう猛で老いたネコがベットの下にいました。

物語 Bona Nokto (すてきな夜)

Dum la jorno la suno brilas. En la vespero la suno desaparadas dop la horizonto.

昼の間、太陽は輝きます。夕方には太陽は地平線に消えます。

La uceli nepluse kantas. Li trovas dormeyo en la arbori e li dormas.

鳥たちはもはやさえずりません。彼らは森のねぐらを見つけて、眠ります。

La nokto venas. En la nokto la luno aparas e la steli brilas.

夜が来ます。夜には月が出て、星たちが輝きます。

En la nokto me iras a lito e lektas libro dum un horo ante dormar.

夜に、私はベットに行き、寝る前に一時間、本を読みます。

Me havas grandega lito qua esas/es en mea dormo-chambro.

私には自分の寝室にある大きなベットがあります。

Mea chambro ne esas/es varma dum la printempo e me uzas kin kovrili.

私の部屋は春の間は暖かくないので、五枚の毛布を使います。

Dum la somero la vetero esas/es varma e mea chambro ne esas/es kolda.

夏の間、気候は暖かく私の部屋は寒くありません。

Me uzas nur un kovrilo. En la autuno la vetero divenas kolda.

私は一枚だけ毛布を使います。秋には気候が寒くなります。

Me uzas plura kovrili. Me uzas sis lana kovrili.

私は何枚かの毛布を使います。私は六枚のウールの毛布を使います。

Dum la vintro la vetero esas/es tante kolda ke me uzas dek kovrili,

冬の間、天候は10枚の毛布を使うほどに寒いし、

e mea du granda hundi dormas en la sama lito kam la mea (quale me).

私の2匹の大きな犬たちは私のように同じベットに寝ます。

La familio (家族) familio[fa-MI-lyo]

avo (祖父母) avino (祖母) avulo (祖父)

patro (父) matro (母) genitoro (両親) parento (親戚)

spozo (配偶者) spozino (妻) spozulo (夫)

filio [FI-lyo] (こども) filiino [fi-li-I-no] (娘) filiulo [fi-li-U-lo] (息子)

gefilii [ge-FI-lyi] (息子と娘)

frato (兄弟) fratino (姉・妹) fratulo (兄・弟)

nepoto (孫) nepotino (女の孫) nepotulo (男の孫)

onklo (叔父・叔母) onklino (叔父) onklulo (叔母)

kuzo (いとこ) kuzino (従姉妹) kuzulo (従兄弟)

nevo (甥・姪) nevino (姪) nevulo (甥)

イド語初級講座 第07課

動詞一未来時制

未来時制は何かが将来起こるだろうという時に使われます。未来時制の語尾は「-os」です。

例えば、

Me iros

Ni vidos

私は行くだろう

私たちは見るだろう

語彙

注意：動詞は現在時制になっています。

armoro (食器だな)

audas (聞く)

batas (打つ)

dansas (踊る)

dansisto (ダンサー)
を吸う)

dop (~の後ろに(場所))

fumas (タバコ)

gustas (味あう)

juas (楽しむ)

klimas (登る)

klimero (登山者)

kolino (丘)

monto (山)

morge (明日)

vilajo (村)

例文

Me esas

Me esis

Me esos

私は～だ

私は～だった

私は～だろう

Vu havas

Vu havis

Vu havos

あなたは～を持っている
いるだろう

あなたは～を持っていた

あなたは～持って

Ilu regardas

Ilu regardis

Ilu regardos

彼は見ている

彼は見ていた

彼は見るだろう

Tu dansas bone.

君は上手に踊ります。

La automobilo esas/es granda.

その車は大きいです。

Me batos vi.

私はあなたを打つでしょう。

Me helpos ilu. / Me helpos ad ilu.

私は彼を助けるでしょう。

Me ne fumas.

私はタバコをすいません。

Ka vu manjos hodie?	今日、あなたは食べますか？
La klimero venos.	登山者が来るだろう。
Ka ni dansos morge?	あなた方は明日、踊りますか？
Me gustos la kuko.	私はそのケーキを味わうでしょう。
Tu juos la biro.	君はビールを楽しむだろう。
La instruktisto fumis.	その教師はタバコを吸いました。
Me divenos dentisto.	私は医者になるでしょう。
La vetero esas/es varma hodie.	今日、天候は温かい。
Ka ni fumos sigareto?	タバコを吸いましょうか？
La hundo di Filipino audis la yunino.	フィリッポの犬が少女のことを聞きました。
La uceli kantos morge.	明日、小鳥がさえずるでしょう。
La instruktisto ne audis li.	その教師が彼らのことを聞きませんでした。
Ilu ne batos la mikra hundo.	彼はその小さなイヌを打たないでしょう。
La dansisto ne dansos hodie.	そのダンサーは今日、踊らないでしょう。
Ilu pozis la manjajo aden la armoro.	彼はその食べ物を食器だなに入れました。
La grosa muso manjos la pomo.	その太ったネズミが、リンゴを食べるでしょう。
La porko ne dormos en mea lito!	その豚が私のベッドに寝ないでしょう！
La kamionisto drinkos la wiskio.	そのトラック運転手はウイスキーを飲むでしょう。
La fantomo ne aparos dum la jorno.	その幽霊は、その日の昼間は出ないでしょう。
La yuna klimero helpis (a) la olda soldato.	その登山者が老いた兵士を助けました。
Elu ne klimos la kolino dop la vilajo.	彼女はその村の後ろの丘に登らないでしょう。
La klimero klimos la monto dum la nokto. しょう。	その登山者は、その日の夜のうちに、山に登るで

基数

(他の西欧語にはみられない非常に論理的なシステムです。)

un	du	tri	quar	kin	sis	sep	ok	non	dek
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

dek e un	dek e du	dek e tri	dek e quar	dek e kin
11	12	13	14	15

dek e sis	dek e sep	dek e ok	dek e non	duadek
16	17	18	19	20

duadek e un	duadek e du	duadek e tri	...
			...

triadek	quaradek	kinadek	sisadek	sepadek
30	40	50	60	70

okadek	nonadek	nonadek e non	cent
80	90	99	100

cent e un	cent e duadek quar	duacent	quaracent
101	124	200	400

mil	duamil	triamil e sepacent	miliono
1000	2000	3700	1,000,000

数字の1から10は、第06課で学びました。上記の例から分かるように、その残りの数字も簡単です。

「11」は、「dek e un」となります。(逐語的には「10と1」です)

「12」は、「dek e du」となり「19」(dek e non)まで、同様です。

「20」=「duadek」は、「dua」と「-dek」で、「10の2倍」すなわち「20」です。

「30」は、「tria-dek」、「40」は「quara-dek」などとなります。

「41」は「10の4倍 プラス 1」は、「quaradek e un」、「556」（100の5倍 と 10の5倍 と 6）で「kinacent e kinadek e sis」となります。

語彙

amoras （愛する） banano （バナナ） ca （この（形容詞）） disko （デスク、レコード）
durstoza （のどが渴いた） forketo （フォーク） fratino （姉妹） klaso （クラス、学級）
fratulo （兄弟） gorilo （ゴリラ） hungroza （空腹の） kantisto （歌手）
infanto （子ども（7才以下）） kopiuro （写し、コピー） kuliero （スプーン）
kultelo （ナイフ） lampo （灯火） letro （手紙） letro-portisto （郵便集配人）
lia （彼らの） onklino （叔母） pantalono （ズボン） pendas （つるす）
per （～を介して、～を使って） plafono （天井） planko-sulo （床）
ta （その（形容詞）） tir-kesto （引き出し） sua 自分自身の（再帰代名詞の所有格）

「amoras」と「amas」。「per」の意味。「pantalono」について。

(1) 「amoras」は、男女のお互いの感じる愛情という意味の「愛する」です。

また「amas」は、母が自分の子どもに対する愛情、兄弟同士が感じる愛情などという意味での「愛する」です。

(2) 「per」は、「～を用いて」という意味です。

Illo batis me per bastono. 彼は棒を使って私をたたきました。

イド語の「per」に相当する英単語「with」には、「～と一緒に」という意味があるので、英語圏の人は混乱するかもしれないの注意を要します。

英語では「with」と同等な前置詞を使うことがありますね。

Havez pacienteso a me. Have patience 'with' me. 堪忍してくれ！（私のことに忍耐して下さい）

(3) 「pantalono」（ズボン、パンツ）は、イド語では単数形です。それは、一つの構成物に過ぎないからです。

「pantaroni」と複数形にすると、何本かのズボン（パンツ）になります。また、「binoklo」（メガネ）も同様です。

(注意：これは、英語圏のための説明です。英語では「trousers」と複数形で「ズボン」の意味を表します。「足が二つあるから」という説明する人もいますが、確かではありません。メガネも英語では「glasses」と複数形になります。英語ではズボンなどの数え方は「a pair of trousers」(ズボン一着(一本))のように「~pair(s) of~」を使いますが、イド語では必要ありません。これは、日本語話者にとっては、不必要な説明かもしれませんね)

例文

Duadek kavali.	20 匹の馬
Triadek infanti.	30 人の子ども
Cent kulteli.	100 本のナイフ
Quaradek e quar letri.	44 通の手紙
Kinadek e ok kulieri.	58 本のスプーン
Sisadek e tri kopiuri.	63 枚のコピー
Nonadek e un gorili.	91 匹のゴリラ
Mea matro havas dek e sis kati.	私の母は 16 匹のネコを飼っています。
Lia instruktisto havas okadek diski.	彼の教師は 80 枚のデスクを持っています。
Mea onklino havas sepadek e un flori.	私の叔母は 71 本の花を持っています。
Morge me skribos dek e du letri.	明日、私は 12 通の手紙を書きます。
La gorilo di mea onklino manjis dek e kin banani.	私の叔母のゴリラは 15 本のバナナを食べました。
La triadek soldati dormis sur la planko-sulo.	30 人の兵士たちが床の上に眠っていました。
Triadek e sis lampi pendis de la plafono.	36 個のランプが天井から吊るされていました。
En ta urbo laboras sepadek e sis durstoza letro-portisti.	
その街で、76 人の喉の乾いた郵便集配人たちが働いています。	
La quaradek kulteli esis en la tir-kesto di ca tablo.	
40 本のナイフがそのテーブルの引き出しの中にありました。	
Hodie la yuni di ca klaso fumis duadek sigareti.	
今日、このクラスの子どもたちが 20 本のタバコを吸いました。	
Mea yuna fratino trovis cent e du forketi en la armoro.	

私の妹が食器だなの中に 102 本のフォークを見つけました。

La nonacent e nonadek e non hungroza infanti batis la tablo per sua kulieri.

999 人のお腹をすかせた子どもたちが自分たちのスプーンでテーブルをたたきました。

La 2 kantisti vendis duacenta-mil kopiuri de sua nova disko, 'Me amoras tu'.

二人の歌手が「君を愛している」という自分たちの新しい CD (レコード) を 20 万枚、売りました。

造語法「-il-」

「-il-」は、語根で示された行為を行うための道具を表す接辞です。

Pektilo	skribilo	brosilo	plugilo
楡 (くし)	筆記用具 (ペン、鉛筆など)	ブラシ	スキ
pektas (髪をとかす)	skribas (書く)	brosas (ブラシをかける)	plugas (耕す)
pafilo	barilo	fotografilo	
銃	防壁	カメラ	
pafas (射撃する)	baras (道などをふさぐ)	fotografas (写真に撮る)	

道具の多くの特別な名称が存在します。

Klefo	martelo
鍵	ハンマー

この動詞は、行為することを示す語根「-ag」 と道具の名称を組み合わせることで、作ることができます。

Klefagar	martelagar
鍵をかける	ハンマーで打つ

語彙

Mixas (混ぜる)	trunchas (切る)	brosas (ブラシをかける)	fotografas (写真に撮る)
ludas (遊ぶ)	apertas (開く)	natas (泳ぐ)	

注意

正しい単語がわからない時に、近似の単語を作るために、しばしば接頭辞をつかうことがあります。

tranchilo (ナイフ) mixilo (ミキサー) brosililo (ブラシ)
fotografilo (カメラ) natili (魚のヒレ) ludilo (おもちゃ)
apertilo (ドアの取っ手) natili (潜水員の水かき)

会話 Sur la strado (ストリートにて)

A Alan (アラン)

B Bob (ボブ)

A: Saluto, Bob! Quale tu standas?

アラン: こんにちは、ボブ！ ごきげんいかが？

B: Saluto, Alan! Hodie esas/es mea nasko-dio [NAS-ko-DI-o].

ボブ: こんにちは、アラン！ 今日は僕の誕生日だよ。

A: Vere? Quante tu evas?

アラン: 本当？ 何歳になるの？

B: Me evas non yari.

ボブ: 9歳になるよ。

Me havis multa ludili: Kamiono, automobilo, soldati e sukraji.

ボクはいっぱい、おもちゃ持ってるよ。トラックだろ、自動車だろ、兵隊だろ、それにお菓子さ。

Morge me havos mea partio. Ka tu venos? Mea matro ja demandis a tua matro.

明日、パーティをやるんだよ。君、来る？ボクのママがもう、君のママに聞いたよ。

A: Ka mea matro dicis 'yes'?

アラン: ボクのママは「イエス」って言ったの？

B: Komprenende!

ボブ: もちろんさ！

A: Qui venas a la partio?

アラン： パーティには誰が来るの？

B: Omna nia amiki. Li kunportos donacaji

ボブ： 僕達の友達みんなさ。みんな、プレゼント持ってくるさ。

Yen, prenez sukrajo e peco de chokolado!

ほら！ お菓子和チョコレートひと粒、とって！

A: Danko.

アラン： ありがとう。

B: Til la partio.

ボブ： パーティでね。

A: Til la partio.

アラン： パーティで会おうね。

一般的な疑問文とその返答

Quakolora? (何色?) Ube? (どこ?) Che vu (アタナの家で)
posdimezo (午後) vespero (夕方) Qua? (誰?) Quo? (何?)

- | | | |
|----|---|---|
| 01 | Quakolora esas/es la pordo?
Olu esas/es blanka quale nivo. | そのドアは何色ですか？
雪のように白いよ。 |
| 02 | Ube vu dormas?
En la lito kun mea amorata spozino. | あなたはどこで眠りますか？
愛する妻と一緒にベッドで。 |
| 03 | Ka vu dormas dum la jorno?
No, kompreneble ne. Me sempre devas laborar.
働かな | あなたはその日一日中眠りますか？
いいえ、もちろん違いますよ。私は常に
ければなりません。 |

- 04 Ka vu havas blua automobilo?
Yes, nam la blua esis chipa. あなたは青い自動車を持っていますか？
はい、もってます。青い車は安いから。
- 05 Ka vu drinkas biro?
No, me esas anti-alkoholisto. あなたはビールを飲みますか？
いいえ、私は禁酒主義者ですから。
- 06 Ka vu havas fisheyo che vu?
ありま あなたの家には、生け簀（魚の住む池）は
すか？
Fisheyo che me? Ho, no, ridinde no.
ないよ。 生け簀だって？ いいえ、ばかばかしい、
- 07 Ka vu promenas en la nokto?
Promenar? No, me pavoras de la nokto. あなたは夜、散歩しますか？
散歩？いいえ、私は夜から怖くなるんだ。
- 08 Ka vu laboras en la posdimezo?
Yes, komprenende. Qua laboras por me?
の？ あなたは午後に働きますか？
はい、もちろん。誰が私のために働く
- 09 Ka vu drinkas kafeo en la matino?
Yes, matine kafeo komplete vekigas me.
させ あなたは朝、コーヒーを飲みますか？
はい、朝にコーヒーは私を完全に目覚め
ます。
- 10 Quakolora esas/es kafeo?
Generale olu esas/es nigra ma bruna kande kun lakto.
色です。 コーヒーは何色ですか？
普通は、黒いけど、ミルクを入れると茶
- 11 Ka vu iras a la skolo en la vespero?
No, me ne prizas skoli. あなたは夕方に学校へ行きますか？
いいえ、わたしは学校が嫌いです。
- 12 Quo esas/es sur la tablo? テーブルの上に、何がありますか？

本を	Mea libri. Me lektas libri pri vasta temi.	私の本です。私は広いテーマについての読んでいます。
13	Qua loĝas ĉe vi?	誰があなたのうちに泊まっていますか？
ほと	Nulu loĝas ĉe mi. Mea domo esas/es tre mikra.	誰も私の家に泊まっていません。私の家でも小さいのです。
14	Ube vi habitas?	あなたはどこに住んでいますか？
	En la strado di Ben-Yehuda.	ベン・ヤフダ通りに住んでいます。
15	Ka vi havas fratino?	あなたには姉妹がいますか？
	Yes, mi havas un fratino.	はい、一人います。

輸送の形態（語彙）

aero-navo （飛行船） aeroplano （飛行機） auto(mobilo) （自動車）
balonego （気球） batelo （ボート） biciklo （自転車）
diligenco （駅馬車） furgono （ワゴン車） fuzeo （ロケット）
helikoptero （ヘリコプター） kamiono （トラック） lokomotivo （機関車）
motorbiciklo （オートバイ） navo （船） omnibuso （バス）
spaco-navo （宇宙船） submerso-navo （潜水艦） treno （列車）
vagono （鉄道列車）

イド語初級講座 第08課

序数

英語では少し、不規則になっています。「one」から「first」となり、「two」から「second」、「three」から「fourth」、「five」から「fifth」などのようになります。

イド語では、すべての序数は規則的になっています。すなわち、接尾辞「-esma」を基数につけることで序数になります。（語尾からわかるように、序数は形容詞になります）

イド語の序数	基数+接尾辞	日本語訳
unesma (1ma)	un + esma	一番目の、第一の
duesma (2ma)	du + esma	二番目の、第二の
triesma (3ma)	tri + esma	三番目の、第三の
duadekesma (20ma)	duadek + esma	20番目の、第20の
cent e quaradek e quaresma (144ma)	cent e quaradek e quar + esma	144番目の、第144の

月の名前（暦）

イド語	アクセントの位置	日本語訳
januaro	[ja-nu-A-rro]	1月
februaro	[fe-bru-A-rro]	2月
marto	[MARR-to]	3月
aprilo	[a-PRI-lo]	4月
mayo	[MA-yo]	5月
junio	[JU-nyo]	6月
julio	[JU-lyo]	7月
agosto	[a-GOS-to]	8月
septembro	[sep-TEM-bro]	9月
oktobro	[ok-TO-bro]	10月
novembro	[no-VEM-bro]	11月
decembro	[de-CEM-bro]	12月

日付の表現

イド語の日付表現は「la + 序数 + (di) + 月の名前」という形式になります。前置詞「di」は省略できます。例えば、「5月4日」をイド語では「la quaresma (di) mayo」となります。（イド語で

は「la + 形容詞」で、名詞句になります)

「～日です」と表現したいとき、英語では「it is ~」となりますが、イド語では英語の「it」に相当する単語は必要ありません。「esas」あるいは「es」だけで表現できます。例えば、「Esas/Es la dek e nonesma (di) junio」で、「6月9日です」という意味です。

英語では日付の前に前置詞「on」をつけて副詞句にして使いますが、イド語では前置詞「ye」を使います。例えば、「Ye la duadek e okesma di februaro」は「on the 28th of February」（2月28日に）という意味です。

例文

Esas/Es la kinesma di marto.	3月5日です。
Esas/Es la duesma di januaro.	1月2日です。
Hiere esis la kinesma di julio.	昨日は、7月5日でした。
Ilu ne esis hike ye la kinesma di julio.	彼は7月5日にここにいませんでした。
Esos morges la okesma di mayo.	明日は、5月8日です。
Esos la nonesma di junio morges.	明日は、6月9日です。
Esis la sepesma di agosto hieres.	昨日は8月7日でした。
Mea nasko-dio esis ye la unesma di oktobro.	私の誕生日は10月1日でした。
La letro venis ye la unesma di februaro.	その手紙は2月1日に来ました。
La suno brilis ye la duadekesma di novembro.	太陽は11月20日に輝いていました。
La yunuli ne laboros ye la quaresma di aprilo.	その少年たちは4月4日に仕事をしないでしょう。
Mea matro venos ye la dekesma di septembro.	私の母は9月10日に来るでしょう。

造語法「-eri-」

「-eri-」は、何かが作られるか、行われる、語根によって示された施設のことを表します。しかしここでは、必ずしもそれを制作したり生産することはありません。

drinkerio (居酒屋) agenterio (代理店)

drinkar (飲む) agente (代理人)

fabrikerio (工場) lakterio (酪農場)

fabrikas (制作する) lakto (牛乳)

restorerio (レストラン) rafinerio (精製所)

restorar (軽食をとる) rafinar (精製する)

chapelerio (帽子工場) distilerio (醸造所)

chapelo (縁のある帽子) distilar (蒸留する)

注意

「-eri-」と「-ey-」はしばしば、混同します。前者は、施設を示し、後者は場所を表しています。例えば…

imprimas 印刷する (動詞)

imprimerio 印刷所 (事務所なども含む)

imprimeyo 印刷所の一部、印刷を行う場所や部屋

衣料

boto (長靴) ganto (手袋) kalzego (タイツ) kalzeto (ソックス)

kalzo (ストッキング) robo (ローブ) sharpo [SHARR-po] (スカーフ) shuo (靴)

chapelo ((縁あり) 帽子) jaketo ((婦人の) ジャケット) kamizo (シャツ)

kravato (ネクタイ) paltoto (外套) pantalono (ズボン) subvesto (下着)

surtuto [surr-TU-to] (オーバーコート) vestono ((男性の) 上着) jupo (スカート)

jileto (チョッキ、ベスト) korsajo [korr-SA-jo] (ブラウス) trikoturo (プルオーバー)

manu-sako [MA-nu-SA-ko] (ハンドバック) subjupo [SUB-JU-po] (ペチコート)

kalsono (ズボン下)

疑問代名詞 (2) 対格

これまで、「Qua?」「Qui?」「Quo?」を学んできました。

Qua manjas? Qui venis? Quo facas la bruiso?

誰が食べてるの? 誰(複数)が来たの? 何の騒音?

上記のすべての例文は、「qua」と「quo」が動詞によって示された行為を行っています(行為者)。しかし、「qua」や「quo」が、何らかの方法で、行為される側になる場合が発生するでしょう。英語では①「Whom do you see?」と②「What are you eating?」です。

この二つの英語の文章では、「you」が行為を行っています。

①は、「whom」が「見られる」ことによって、見る行為の受け手側になり、②は、「what」は食べられることで、食べる行為の受け手側になります。

英語の「who」が語尾をつけて「whom」になるように、イド語でも「qua」「qui」は語尾をつけて「quan」「quin」になります。

しかし、英語の②の「what」は変化しないままですが、イド語の「quo」は、「quan」「quin」のパターンと同じく、「quon」になります。

対格の語尾「-n」を使うことで、誰が行為をしているのか、誰が行為の受け手なのかが、無条件に明確になります。

La viro quan vu vidis.	あなたが見た男
Quin vu vidas?	あなたは誰を見たのですか？
Quon ilu dicis?	彼はなんといいましたか？
Me ne audis (to) quon ilu dicis.	私は彼がなんと言ったのか聞いていませんでした。

注意

構造的に英語の語順は変化し、「do」や「does」が挿入されます。一方のイド語では、語順は維持されます。

英語 イド語 日本語訳

Whom do you see?	Quan vu vidas?	あなたは誰を見ているの？
What do you see?	Quon vu vidas?	あなたは何を見ているの？
What are you eating?	Quon tu manjas?	君は何を食べているの？

例文

Qua vidas me?	誰があなたを見ているの？
Quan me vidas?	私は誰を見ているの？
Qua povas vidar ilu?	誰が彼に会うことができますか？
Quan ilu povas vidar?	彼は誰に会うことができますか？
Quon vu prizas?	あなたは何が好きですか？
Quo manjis mea shui?	何が私の靴を食べましたか？
Quo esas/es en la buxo?	箱の中に何がありますか？
Quo drinkis la lakto?	何がミルクを飲みましたか？
Quon vu koquas?	あなたは何を料理していますか？
Quo esas/es en la domo?	家の中に何がありますか？
Qua manjas la fisho?	誰がその魚を食べていますか？
Qua manjas la karno?	誰が肉を食べていますか？
Quan la fisho manjas?	その魚は誰を食べていますか？

Quon la ucelo manjas?	小鳥は何を食べていますか？
Quon vu donis a li?	あなたは彼らに何をあげましたか？
Quon vu donis a John?	あなたはジョンに何をあげましたか？
Qui prizas pomi?	リンゴが好きなのは、誰（複数）ですか？
Qui prizas la uceli?	小鳥を好きなのは誰（複数）ですか？
Quin li vidis?	彼らは誰（複数）に会いましたか？
Quin mea amiki vidis?	私の友達らは誰（複数）に会いましたか？

語彙

adreso (住所)	antea (以前の)	apud (そばに)	atesto (証明書)
bezonas (必要とする)	biblioteko [bi-blyo-TE-ko] (図書館)	bone (よく)	
brulis (燃えた(燃やした))	centro (中央)	cinemo (映画)	
dil (「di + la」の短縮形)	direte (直接に)	drinkerio [drin-KE-ryo] (居酒屋)	
eventis (偶然～が起こった)	employo (職業)	agenterio (紹介所)	
fakte (実際に)	homo (人間)	hotelestro (ホテルの支配人)	
hoteloo (ホテル)			
incendio (火災)	kom (～のように)	incendio-domo (消防署)	klerko (事務員)
koquisto (コック)	laboro (仕事)	lando (国)	listo (一覧表)
livis (出発した)			
naskis (生まれた)	onklulo (叔父)	rejala (王の～)	evar (～歳である)
serchas [SERR-chas] (捜す)	restorerio (レストラン)	staciono (駅)	
tota (全ての)	vartez! (待って!)	ye (前置詞(正確な時間、場所))	
fairo [fa-I-ro] (火)			
quanta? (幾つの?(形容詞))	quante? (幾つ?(副詞))		

「incendio」と「fairo」、 「konocas」と「savas」、 「evar」、「quanta?」と「quante?」

1) 「incendio」は、故意もしくは偶発的な破壊な火災です。「fairo」は家の中で見つかるもの。

2) 「konocas」は「～の知識がある」ということです。したがって、人間や場所を知っているというためだけに使われます。「savas」は事実をしを知っているという時に使います。

Me konocas Mary. 私はメリーを知っています。

Me savas ke ilu esas/es stupida. 私は、彼が愚かだということを知っています。

3) 「evar」は、何歳になっているという意味で使います。

Me evas 51 (kinadek-e-un) yari. 私は51歳です。

4) 「quanta?」は、形容詞なので、名詞を修飾しますが、「quante?」は副詞として機能します。*1

Quanta homi mortis? 何人の人が死亡したのですか？

Quante to kustas? それは（値段は）いくらですか？

Quante vu evas? あなたは何歳ですか？

会話 職業紹介所にて

En la employo-agenterio 職業紹介所にて

(K=Klerko, A=Albert) (K=事務員、A=アルバート)

K: Bon jorno, Sioro.

事務員： こんにちは。

A: Bon jorno, Sioro. Me nomesas Albert Smith.

アルバート： こんにちは。私はアルバート・スミスと申します。

Me serchas laboro kom koquisto. Yen mea atesti.

コックとして仕事をさがしています。これが証明書です。

K: Hm. Albert Smith. Yes. Quo esas/es vua adreso?

事務員： フンフン、アルバート・スミスさんですね。住所はどちらになりますか？

A: Me habitas ye kin, Couturat Strado.

ア： クーチュラ通り5番に住んでいます。

K: Hm, yes. Quante vu evas?

事： フンフン。そうですね。何歳ですか？

A: Me evas triadek e sis yari.

ア : 36歳です。

K: Ed ube vu naskis? En ca lando?

事 : それで、どこでお生まれですか？この国で？

A: Yes, me naskis en London.

ア : はい、そうです。ロンドンで生まれました。

K: Hm, yes. Ka vu havas familio?

事 : フンフン。そうですか。家族はいますか？

A: Yes, me havas spozino e tri infanti.

ア : はい、います。妻と三人の子どもです。

Mea onklulo anke lojas en la domo kun ni.

私の叔父も、家に住んでいます。

K: Hm, yes. Pro quo vu livis vua antea laboro?

事 : フンフン。そうですか。前の仕事はなぜ、やめたのですか？

A: Incendio eventis en la koqueyo e la restorerio brulis.

ア : 火災が厨房で起きて、レストランが燃えたしまったんです。

Fakte la tota strado brulis.

通り全部、焼けてしまったんですよ。

K: Hm, hm, yes. Vartez! Me serchos laboro por vu en mea listi. Ha, yes!

事 : フンフン、そうですか。お待ちください。リストの中からあなたのお仕事を探しますから。あ、ありました。

Ka vu konocas la Rejala Hotelo? La hotelestro beznoas bona koquistro.

ロイヤル・ホテルを知っていますか？ホテルの支配人が良いコックを必要としていますよ。

A: No, me ne konocas ol.

ア : いいえ、そこは知りませんね、

K: Hm. Ka vu konocas la centro dil urbo?

事 : フンフン。この都市の中心（街）を知っていますか？

A: Me nur konocas la cinemo, la butiki, la biblioteko, e la drinkerii.

ア : 映画館や、お店や、図書館や、居酒屋しか知りませんが…

K: Ka vu konocas Nova Strado? La staciono esas/es en Nova Strado.

事 : 新通りを知っていますか？新通りの中に駅がありますよ。

A: Yes.

ア : はい、知っています。

K: Bone, en ta strado esas/es la Rejala Hotelo.

事 : いいですね、その通りの中に、ロイヤル・ホテルがあるんですよ。

Olu esas/es direte apud la incendio-domo.

そこは、消防署のすぐ近くにあります。

質問と答え

No. 質問

答え

01 Quale la koquisto nomesas? コックの名前はなんと言いますか？

Ilu nomesas Albert Smith. 彼の名前はアルバート・スミスと言います。

02 Ube ilu esas? 彼はどこにいますか？

Ilu esas en la employo-agenterio. 彼は職業紹介所にいます。

03 Quon ilu serchas? 彼は何をさがしていますか？

- Ilu serchas laboro kom koquisto. 彼はコックの仕事をさがしています。
- 04 Qua parolas ad Albert? 誰がアルバートに話していますか?
La klerko ibe. そこには事務員がいます。
- 05 Ube Albert habitas? アルバートはどこに住んでいますか?
Ilu habitas ye kin, Couturat Strado. 彼は、クーチュラ通り五番に住んでいます。
- 06 Quante ilu evas? 彼は何歳ですか?
Ilu evas triadek e sis yari. 彼は36歳です。
- 07 Ube ilu naskis? 彼はどこで生まれましたか?
Ilu naskis en London. 彼はロンドンで生まれました。
- 08 Albert havas quanta infanti? アルバートには子どもは何人いますか?
Ilu havas tri infanti. 彼には3人の子どもがいます。
- 09 Quanta homi rezidas che Albert? アルバートの家には何人住んでいますか?
Sis homi rezidas ibe. そこには6人住んでいます。
- 10 Quo eventis en la koqueyo dil restorerio? そのレストランの厨房では何が起きたのですか?
Incendio eventis. 火災が起きました。
- 11 Kad Albert konocas la Rejala Hotelo? アルバートはロイヤル・ホテルを知っていますか?
No, ilu ne konocas. いいえ、知りません。
- 12 Qua bezonas bona koquisto? 良いコックを誰がさがしていますか?
La hotelestro di la Rejala Hotelo. ロイヤル・ホテルの支配人です。

- 13 Quon ilu konocas en la centro dil urbo? 彼は市の中央に何があるかを知っていますか?
La cinemo, la butiki etc. 映画館、店などです。
- 14 Ube la staciono es? 駅はどこにありますか?
Olu esas en Nova Strado. ノーバ・ストラード（新通り）にあります。
- 15 Quo esas/es direte apud la Rejala Hotelo? ロイヤル・ホテルのすぐ脇に何がありますか?
La incendio-domo esas ibe. そこには消防署があります。

人に関する語彙

	viro 男（成人男性）	muliero 女(成人女性)
homo 人間、人	homino 男の人	homulo 女の人
yuno 若者（青春期以降）	yunino 若い女性	yunulo 若い男性
geyuni 若い男女		
puero 子ども（7才ころから青春期まで）	puerino 少女	puerulo 少年
infanto 子ども（6才ころまで）、幼児	infantino 女の子ども（幼児）	infantulo 男の子ども（幼児）
infanteto 赤ん坊		

イド語初級講座 第09課

造語法 des-

特定の単語がない時には、接尾辞「des-」を使って、その語根の正反対の語を作ることが来ます。

例えば…

facila (易しい)	desfacil (難しい) a
neta (汚れのない)	desneta (汚れた)
honoro (名誉)	deshonoro (不名誉)
ordino (秩序)	desordino (無秩序)
fortuno (幸運)	desfortuno (不幸)
helpo (援助)	deshelpo (妨害)

語根語の反対語がわからなかった時、それを作ることも可能です。

bona (よい)	desbona (=mala) (悪い)
bela (美しい)	desbela (= leda) (見難い)

しかし、反対語が存在する時は、修辞学的な理由がない限り通常、反対語を作る必要はありません。

bona (良い)	mala (悪い)
bela (美しい)	leda (醜い)
freque (頻繁に)	rare (めったに~しない)
harda (難しい)	mola (柔らかい)
chipa ((値段の) 安い)	chera (高価な)
forta (強い)	febla (弱い)
richa (豊かな)	povra (貧しい)

語彙

chipa (安い)	freque (頻繁に)	forta (強い)	harda (堅い)
richa (豊かな)	fortuno (幸運)	helpo (助力)	honoro (名誉)
neta (整然とした)	ordino (秩序)		

例題

上記の単語から続く単語を作ってみましょう。

deschipa (chera)	desfrique (rare)	desforta (febla)	desharda (mola)
高価な	まれな	弱い	柔らかい

desricha (povra)	desfortuno	deshelpo	deshonoro
貧しい	不運	妨害	不名誉

desneta (sordida)	desordino		
不潔な	無秩序		

不定詞

英語の不定詞は、例えば「to eat」「to sing」「to clean」となります。このように、英語では「to + 動詞の原形」の2語になります。

これに対して、イド語では動詞の語根に語尾「-ar」をつけるだけで不定詞になります。

manjar kantar netigar

to eat to sing to clean

忘れてはならないことは、イド語の不定詞のアクセントの位置は後ろから2番目の音節ではなく、例外的に語尾「-ar」になることです。例えば manjar [man - JARR]、kantar [kan - TARR]。

本来後ろから2番目の音節にアクセントが来る、スペイン語やポルトガル語でも cantar (歌う) の様な動詞ではアクセントは最後の音節に移ります。これはイタリア語の cantare (歌う) を見ると分かる様に、最後の -e が脱落したからで、元々は -ar は最後から2番目の音節だったのです。因みにイタリア語で食べる動詞は mangiare [マンジャーレ] とやはり後ろから2番目の音節にアクセントが来ます。

隠された不定詞

英語では、不定詞を常に「to + 動詞語根」のまま使うわけではなく、「to」が脱落することもあります。

例えば、「I must go」「I can go」です。これは、論理的には「I want to go」「I try to go」と同じパターンで、「I must to go」「I can to go」となるはずですが。

しかし、イド語ではそんなことはありません。

例： Me mustas irar, me povas irar, me volas irar, me esforcas irar.

3種類の不定詞

最後の音節「-ar」「-ir」「-or」にアクセントをおきます。

現在不定詞

現在不定詞の語尾はアクセントのある「-ar」です。

kredar [kre-DARR] donar [do-NARR]

信じる 与える

参照) 動詞の現在時制の語尾は「-as」です。

Me kredas [KRE-das]. 私は信じる。

Me donas [DO-nas]. 私は与える。

過去不定詞

過去不定詞の語尾はアクセントのある「-ir」です。

kredir [kre-DIRR] donir [do-NIRR]

信じていた 与えていた

参照) 動詞の過去時制の語尾は「-is」です。

Me kredis [KRE-dis]. 私は信じた。

Me donis [DO-nis]. 私は与えた。

未来不定詞

未来不定詞の語尾はアクセントのある「-or」です。

kredor [kre-DORR] donor [do-NOR]

信じるだろう 与えるだろう

参照) 動詞の未来時制の語尾は「os」です。

Me kredos [KRE-dos]. 私は信じるだろう。

Me donos [DO-nos]. 私は与えるだろう。

例文

Me memoras renkontrir ta viro che Cambridge antee.

私は以前、ケンブリッジでその男と会ったことを覚えています。

(Me fakte renkontris ta viro che Cambridge.)

(私は実際ケンブリッジでその男と会っていました。)

Ka vu memoris efacar la morga renkontro?

(= Ka vu memoris la devo di efacar la morga renkontro?)

あなたは明日の会合をキャンセルするのを覚えていましたか？

(La questionanto ne savas ka lu fakte efacis o ne?)

(質問者は実際にキャンセルしたのかどうかを知らない。)

Pliz memorez enpostigor la letri.

どうぞ、その手紙をポストに入れて下さい。

(Onu eble enpostigos la letri.)

だれかが、おそらく、その手紙を入れるのだろう。

Pardonez me. Me ne memoris retro'sendar la kontrato.

ごめんなさい。その契約書を送り返すのを忘れていました。

(Me ne memoris la devo di retro'sendar la kontrato.)

(私は契約書を送り返す義務を憶えていませんでした=忘れていました。)

Ni memorez facor rezervajo ante la fino di junio.

6月末まで予約することを覚えておきましょう。

(Ni eble facos rezervajo ante la fino di junio.)

おそらく6月末までに私たちは予約するでしょう)

よくある間違い

①「El mustas iras」とか「Il ne povis venas」のように、語尾が両方「s」にしてはいけません。二番目の動詞は不定詞にしなければなりません。「Elu mustas irar」「Ilu ne povis venar.」とします。

②不定詞と一緒に「a」や「ad」を使わないで下さい。「El volas ad iras」や「El volas ad irar」は意味がありません。英語の「She wants to go」の場合、すでにイド語の不定詞には「to」に相当する意味が含まれています。

まれに、「in order to」(～のために)に相当するところで、「por」を使ってもいい場合もあります。

Me laboras por vivar.

私は生きるために働きます。

しかしこの例は次の例題の中には含まれていません。

語彙

darfar (～してよい・許可)

esar (いる、ある)

esforcar (努力する)

komprar (買う)

konduktar (運転する)

mustar (～ねばならない)

povar (できる・能力)

prizar (高く評価する)

regardas (眺める)

savar (知っている)

televiziono (テレビ)

volar (望む)

例文

Me mustas irar.	私は行かなければなりません。
Vu mustas venar.	あなたが来るべきです。
Me volas savar.	私は知りたいです。
Ilu ne povas koquar.	彼は料理できません。
Ilu volas savar.	彼は知りたいのです。
Ilu mustas esar bona.	彼は良い人に違いない。
Ilu darfes havar la hundo.	彼はイヌを飼ってもかまいません。
Me povas konduktar kamiono.	私はトラックを運転できます。
La mediko ne povas venar.	その医者は来ることができません。
Mea onklulo volas manjar.	私の叔父は食べたいのです。
Vi darfes manjar la pomi.	あなた達はそのリンゴを食べてもかまいません。
Mea fratino prizas kantar.	私の妹は歌うことが好きです。
Elu darfes komprar ol.	彼女はそれを買ってもかまいません。
Me esforcis koquar la karno.	私は肉を料理することを試みました。
Me prizas vizitar mea fratino.	私は妹を訪問することが好きです。
Me esforcos skribar a tu.	私はキミに手紙を書くことに務めるでしょう。
Kad ilu darfes regardar la televiziono?	彼はテレビを見てもかまいませんか？
La yunulo volas komprar ca automobilo.	その若者がこの車を買いたがっています。
Li esforcas regardar la televiziono.	彼らはテレビを見ることに務めています。
Ni ne darfes vizitar la malada yuno.	私たちはその病気の若者を訪問してはいけません。

語彙

an (～に、～で) ネ)	arivar (到着する)	berjero (肘掛け椅子)	binoklo (メガ
chefa (主な)	chino (中国人)	dineo (夕食)	agar (行
fauro [fa-I-ro] (火) (決まり文句)	filiino (娘)	filiulo (息子)	formulo
forsar (強いる)	furioza (荒れ狂う)	gancar (獲得する)	ibe (そこで)
ilua (彼の)	kande (いつ・疑問詞)	karto (カード)	lasta (最後の)
longa (長い) (なぜなら)	lore (そこで、その時)	manuo (手)	nam

nivo (雪) quale (いかに) romano (小説) sempre (いつでも)
trans (~を超えて) vere (本当に) vers (~の方へ) viro (男)
ludar (遊ぶ) detektivo (刑事、探偵) komfortoza (心よい)
du kloki (2時) misterioza (怪しげな) pedbalono (フットボール)
pistoilo (拳銃) sekreta (秘密の) sidar (座っている)
siorino (~夫人) sideskar (座る) de tempo a tempo (時々)
rakonto (物語) vestibulo (玄関) sun-binoklo (サングラス)
tamen (しかし) cirkum (~のまわりに) sua (自分の) dil (di la の短縮形)

Rakonto por Infanti (子どものための物語)

Hiere pos dineo me lektis romano a mea filiino qua evas dek yari.

昨日の夕食後、わたしは自分の10歳になる娘に小説を読んであげました。

Mea filiulo ne esis ibe.

息子はそこにいませんでした。

Ilu evas dek-e-quar yari e preferas ludar pedbalono kun sua amiki kam askoltar la romano.

彼は14才で小説を聞くよりも自分の友達と一緒にサッカーで遊ぶほうが好きなのです。

Yen parto dil romano:

ほら、その小説の一節を聞いて！

'Esis kolda nokto en la vintro e Siorino Gato esis en lito sub multa varma kovrili.

…冬のある寒い夜、ガトー夫人は温かい毛布を何枚も掛けてベッドの中にいました。

Tamen en la koqueyo la lampo brilis.

しかし台所では明かりが灯っていた。

Ibe, Henriko la filiulo di Siorino Gato, e la tri detektivi gardis sekreta formulo.

そこで(台所で)、ガトー夫人の息子のヘンリーコと、三人の刑事が秘密のレシピ(料理の)を守っていた。

Henriko e Konor sidis an la tablo.

ヘンリーコとコーノルはテーブルのところに座っていた。

Li ludis karti kun Adolfus, grosa gorilo qua portis(wore) sun-binoklo.

彼らは、サングラスをかけたデブのゴリラのアドルフスとトランプをしていた。

De tempo a tempo Henriko manjis banano e Konor e la gorilo drinkis biro.

時どき、ヘンリーコはバナナを食べ、コーノルとそのゴリラはビールを飲んでいて。

Henriko esis furioza, nam, quale sempre, la gorilo ganis.

ヘンリーコは苛立っていた。というのは、ゴリラがいつも勝っていたからだった。

La lasta detektivo qua esis magra chino e qua nomesis Wong, dormis en komfortoza berjero avan la fairo.

三人目の刑事は痩せた中国人で、名前はウォンといった。彼は暖炉の前の心よい肘掛け椅子の中で眠っていた。

Ma ye cirkum du kloki en la matino, misterioza viro venis trans la nivo vers la domo.

しかし、朝の二時頃に、怪しげな男が雪を越えて家の方へとやって来たのだった。

Ilu forsis la chefa pordo, iris trans la longa vestibulo e lore apertis la pordo dil koqueyo.

彼は表のドアをこじ開けて、長い入り口のホールを越えると、そこで台所のドアを開けた。

En sua manuo ilu havis pistolo.'

彼の手には拳銃が握られていたのだ…

(参考)

grosa はガタイのデカイとゆう意味です。純粋なデブの時には普通、grasoza と言います。でもこれは本来、脂肪(分)の多いとゆう意味です。ですから牛肉は grasoza でもデブではありませんよね。そこで最近純粋なデブのことを gorda (形容詞、デブの間は gordo です) と言う人もいます。因みにスペイン語やポルトガル語で、デブのことを gorda (女性形), gordo (男性形) と言います。

質問と答え

- 01) Ka la suno brilis?
No, esis kolda nokto.
太陽は輝いていましたか？
いいえ、寒い夜でした。
- 02) Ube Siorino Gato esis?
Elu esis en lito sub multa varma kovrili.
布を
彼女がベットの中で温かいたくさんの毛かぶっていました。
ガトー夫人はどこにいましたか？
- 03) Ube esis Henriko e Konor?
か？
Li esis en la koqueyo.
ヘンリーコとコーノルはどこにいました
彼らは台所にいました。
- 04) Quon la detektivis gardis?
Li gardis sekreta formulo.
した¹。
刑事たちは何を守っていたのですか？
彼らは秘密の公式(レシピ)を守っていました
- 05) Quon li ludis?
Du de li ludis karti.
た。
彼らは何で遊んでいましたか？
彼らの内の二人はトランプをしていました
- 06) Quo esis Adolfus?
Lu esas grosa gorilo.
アドルフスは何者ですか？
彼はデカイゴリラでした。
- 07) Qua portis sun-binoklo?
Adolfus, grosa gorilo, portis olu.
した。
誰がサングラスをかけていましたか？
デカイゴリラのアドルフスがかけていました
- 08) Quon Henriko manjis de tempo a tempo?
か？
Ilu manjis banano.
ヘンリーコは時々、何を食べていました
彼はバナナを食べていました。
- 09) Qui drinkis biro?
Konor ed Adolfus.
誰がビールを飲んでいましたか？
コーノルとアドルフスです。
- 10) Pro quo Henriko esis furioza?
すか？
Nam ilu perdis la ludo.
なぜ、ヘンリーコは怒り狂っていたので
彼はゲームで負けていたからです。
- 11) Quale la chino nomesis?
Lu nomesis Wong.
中国人の名前は何ですか？
彼はウォンです。
- 12) Quon Wong agis?
Lu dormis.
ウォンは何をしていましたか？
彼は眠っていました。

1 西洋では秘密の公式(レシピ)はレストランと開くのに重要な要素ですから、お金になるのです。

- | | | |
|-----|--|--------------------------------------|
| 13) | Ube Wong esis?
Lu esis en komfortoza berjero avan la fairo. | ウォンはどこにいましたか?
彼は暖炉の前の快い肘掛け椅子にいます。 |
| 14) | Kande la misterioza viro arivis?
Ye cirkum du kloki en la matino. | 怪しげな男がいつ来ましたか?
午前2時頃です。 |
| 15) | Quale la viro venis en la domo?
Ilu forsis la chefa pordo. | その男は家の中に入りましたか?
彼は玄関のドアをこじ開けました。 |
| 16) | Quon ilu havis en sua manuo?
Ilu havis pistolo en sua manuo. | 彼は手に何を持っていましたか?
彼は手に拳銃を持っていました。 |

敬称 「Sioro」 「Siorulo」 「Siorino」 など

日本語では「～様」「～さん」「～殿」など接尾詞型の敬称ですが、イド語は英語と同じく接頭詞型となっています。

- ① 「Sioro」 (短縮形は「Sro」) は、英語の敬称「Mr」「Mrs」「Miss」「Master」「Sir」「Madam」に相当します。

理論的には、男性や女性、既婚者や独身者など年齢にこだわらずに使われます。

例えば、業務用通信文などでの「Estimata Sioro」は、英語では「Dear Sir/Madam」で、日本語では「拝啓」となります。

- ② 「Siorulo」 (短縮形は「S-ulo」) は、英語の「Mr」「Master」「Sir」に相当します。実際問題として、これはあまり使われません。「Sioro」で十分です。

- ③ 「Siorino」 (短縮形は「S-ino」) は、英語の「Mrs」「Miss」「Madam」に相当します。

実際上は、「Sioro」は女性にはあまり使われず、「Siorino」の方が好まれます。

これは、ひとつには女性への社交辞令であり、ひとつには同じ家族の一員との区別をするために使われます。

Sro e S-ino Smith Mr. and Mrs. Smith

女性は、もしそう望むならば、「Sioro」のように正しい敬称で呼ばれる権利をもっているのです。

「Siorino」は既婚、独身の両方につかえることを、留意しましょう。

- ④ 「Damzelo」 (短縮形は「Dzlo」) は、英語の「Miss」「young lady」に相当します。

もし状況が要求するならば、非既婚者の婦人は、正しく敬称で「damzelo」と呼んだほうがいいです。

Damzelo Jones, Yen S-ino e Dzlo Smith ミス・ジョーンズ!こちらが、ミス・スミスとミセス・スミスですよ。

La damzelo (qua esas) ibe 若いご婦人があちらにいらっしゃいますよ

⑤「Damo」は、既婚の婦人です。これは誰かへの敬称として使うべきではありません。これは既婚者もしくは未亡人に対するものです。

La damo ibe - The lady over there.

ご夫人があちらにおられます。

語彙（家の中で）

avana-chambro	（居間）	avan-chambro	（部屋の前のどこか）				
avana-pordo	（表玄関）	avan-pordo	（ドアの前のどこか）				
balno-chambro	（浴室）	chambro	（部屋）	dopa-chambro	（奥部屋、秘密の部屋？）		
dopa-pordo	（裏口）	dormo-chambro	（寝室）	eskalero	（階段）		
fenco	（フェンス、柵）	fenestro	（窓）	fluro	（踊り場）	gardeno	（庭）
garden-pordo	（通用門）	grado	（階段の段）	koqueyo	（台所）	latrino	（トイレ）
manjo-chambro	（食堂）	moblo	（家具、調度品）	plafono	（天井）		
planko-sulo	（床面）	pordo	（ドア）	salono	（広間）	tekto	（屋根）
teraso	（テラス）	vestibulo	（入り口ホール）				

語彙（人間の身体の名称）

kapo	（頭）	haro	（一本一本の）髪	hararo	髪（全体）		
fronto	（額）	okulo	（目）	brovo	（まつげ）	orelo	（耳）
noze	（鼻）	vango	（ほほ）	barbo	（ひげ）	boko	（口）
labio	（くちぎる）	dento	（歯）	lango	（舌）		
labio-barbo	[LA-byo-BARR-bo]	（口ひげ）	kolo	（首）	shultro	（肩）	
pektoro	（胸部）	dorso	（背中）	mamo	（乳房）	ventro	（腹）
tayo	（ウエスト、腰）	hancho	（尻）	muskulo	（筋肉）	osto	（骨）
pelo	（皮膚）	brakio	（腕）	dopa-brakio	[DO-pa-BRA-kyo]	（二の腕）	
kudo	（ひじ）	avana-brakio	[a-VA-na-BRA-kyo]	（前腕・ひじから手首まで）			
karpo	（手首）	manuo	（手）	polexo	（親指）	fungro	（指）
gambo	（脚・下肢）	kruro	（ふともも）	genuo	（膝）	tibio	（すね）
suro	（ふくらはぎ）	pedo-kolo	（くるぶし）	pedo	（足）	talono	（かかと）
plando	（足の裏）						

違った状況を頭の中で想像して、「そうだったら良いな」という《感情》を表現する場合に使われます。日本語では普通、「～かも知れない」、と訳されるのですが、心の中では、「～だと良いのにな～」との感情が渦巻いた表現です。また、直接法の発言の遠慮のなさを和らげる場合にも使われます。それは、「実際には無理でしょうけれども、何とかありませんか？」というニュアンスが加わりますので、相手にはとても丁寧に聞こえるのです。

Me venus, ma me ne havas biciklo. 私は来たいのですが、自転車がないのです。（実際は来ない）

Ilu manjus. 彼は状況が変われば、食べるでしょう。

Elu drinkus. 彼女は事情が許せば、飲むでしょう。

このように、「-us」は英語の「would」を意味しているようですが、同じ構造を使った異なった英語の時制を混同しないように注意すべきです。

When I was young, I would swim in the river. 私が若かった頃、その川で泳いでいたものでした。

上記の「would swim」は「よく泳いでいた」という過去の習慣を表しています。したがって、この場合は過去時制なのです。

Kande me esis yuna, me natis en la rivero.

とイド語に翻訳します。

そのことが示すように、過去時制における条件ということもあるわけです。

英語の「I would run if...」（もし～なら走るかもしれない…）、「I would sing, but...」（私が歌うかもしれないが、しかし…）というタイプのものが、イド語の語尾「-us」を使うべきものです。

語彙

alonge （～に沿って） （水浴させる）	altra （別の）	balde （やがて）	balnar
desegnar （設計する） （画像）	filiino （娘）	finar （終える、おわる）	imajo
komencar （始める、始まる） （小包）	lavar （洗う）	nazo （鼻）	paketo
obliviar [ob-li-VYARR] （忘れる、失う）	perdar [perr-DARR] （失う）		
repozar （休息する） （鏡）	ruptar （破る）	sendar （送る）	spiegulo
servar[serr-VARR] （使える、役立つ）	voyo （道）	povar （できる）	
povus （できるかもしれない）			

例文

Me komencus la laboro. 私は事情が許せば、仕事を始めるのだがな。

Elu perdus la pekunio. 彼女はもう少しで、お金をなくす所ですね。

Ilu ruptus la spiegulo. 彼は油断すると、鏡を壊す所です。

Lia onklino oblivius ol.	彼の叔母はそれを忘れそうですが、実際は大丈夫です。
Olua nazo esus tro mikra. でしょう。	その鼻は小さ過ぎるかもしれませんが、マア何とかなる
Li finus la drinkaji. ね。	彼らは状況が許せば、飲み物を飲み終わられるのですが
Me venus balde, se me povus.	私は、もし出来るなら、すぐに来たいのですがね。
Vu desegnus altra imajo.	あなたは油断すると、他の図を描くかもしれません。
Me ne servus altra damo.	色々あっても、私は他の夫人にはお仕えしませんよ。
La muso manjus la banani.	油断したら、そのネズミにバナナを食べられちゃうよ！
La viro ganus tro multa karti. 勝ちすぎ	君達が油断したら、その人はカード（トランプ）勝負に るぞ。
La matro sendus sua filiino.	事情が許せば、母は自分の娘を行かせるのですがね。
Me oblivius irar alonge la voyo. すね。	油断したら、あたしはその道沿いに行くのを忘れそうで
Se me povus, me komprus altra domo.	もし出来たら、私は他の家を買いますね。
La klerko komencus laborar se ilu povus. マアや	可能ならば、その事務員は仕事を始めるのですが、 らんでしょ。
Mary repozus, ma elu ne havas la tempo. いので	メリーは休憩したいんですが、実際、彼女には時間がな す。
Elua filiino irus, ma la voyo esas/es tro longa. しょう	道のりが遠過ぎなければ、彼女の娘は行くので がね。
Vu balnus en la rivero, ma esas/es tro kolda. 水浴	そんなに水が冷たくなければ、あなたはその川で びができるのですがね。
Me lavus la hundo, ma me ne havas la tempo. せん。	私は犬を洗いたいけれども、私には時間がありま
Li sendus la paketo, ma John perdis ol. 包を	ジョンは小包を送りたい所なんですが、実際は小 無くしていますからね。

形容詞の比較表現

英語とイド語の比較表現を比べてみましょう。

	原級	比較級	最上級
英語①	big	bigger	biggest
イド語	granda	Plu granda	maxim granda
英語②	besutiful	more beautiful	most beautiful

イド語	bela	plu bela	maxim bela
-----	------	----------	------------

上の例からも分かるように、英語では形容詞の比較表現には二つのやり方があります。

ですが、イド語では英語②の例に相当する比較表現は一つしかありません。

無理やり英語に当てはめてみれば、「bigger」＝「more big」、「biggest」＝「most big」となるわけです。

また、イド語の比較の慣用表現は、英語との比較してみるとわかりやすいので、以下のように図表にしてみました。

イド語	英語	日本語
plu ... kam	more ... than	～より以上のもの、 ～して余りある
min ... kam	less ... than	～より少ない
.tam ... kam	as ... as	～と同じくらいに～
.ne tam ... kam	not so ... as	…ほど～ではない (同等比較の否定)
maxim ... de	most ... of	最も多くの、最高の
min ... de	least ... of	最も小さい、最小の
tre	very	とても

El esas PLU granda KAM me.

彼女は私よりも大きい、

Me esas TAM richa KAM ilu.

私は彼と同じくらい金持ちだ。

Ol esas la MAXIM bela de omni.

それは全ての中で最高に美しい。

Il esas TRE brava.

彼はとても勇敢です。

Me preferas ico KAM ito.

私はあれよりもこれが好きです。

「as good as possible」¹をイド語にすると、「maxim bona posible」（できるだけ最高の）にしたほうがいいのかもかもしれません。

もう少し、例文を見てみましょう。

Me esas/es leda.

私は醜い。

Ilu esas/es tam leda kam me.

彼は私と同じくらい醜い。

Elu esas/es plu leda kam vu.

彼女はあなたよりも醜い。

Elu esas/es la maxim leda.

彼女は最も醜い。

¹英語の「as good as possible」という表現よりも、「as well as possible」の方が一般的らしい。possible とゆう言葉はここでは努力を表しているので、good の様な形容詞は努力のしようがありませんが、何かの動作を努力して良くする well の様な動詞を修飾する副詞が使われるのです。

イド語の「kam」という単語は、英語の「as」と「than」の両方を意味することに注意して下さい。

「kam」は、英語が「than」を使わない場合でも、比較のために使われているのです。

イド語では副詞の比較表現は、形容詞語尾「-a」を副詞語尾「-e」に変えることで作ることができます。

bona bone

fina fine

これらは、形容詞のように比較表現になります。

Ilu lektas plu bone.

彼はもっと上手に読みます。

語彙

alta (高い) chipa (安い) danjeroza (危険な) fresha
(新鮮な)

inteligenta (理性的な) interesanta (興味深い) kontenta (満足した)

kurta (短い) larja (広い) leda (醜い) mola (柔
らかい)

povra (貧しい) plena (de) (~で一杯の) pura (清い) quieta (静かな)

simpla (単純な) stupidavakua [VA-kwa] (愚かな、空っぽの)

例文

La arbori esas/es alta.

その木は高い。

Ta rivero esas/es plu larja.

あの川はもっと広い。

La pomi esas/es chipa.

そのリンゴは安い。

Ca laboro esas/es plu simpla.

この仕事はもっと単純だ。

La banani esas/es plu chipa.

そのバナナはもっと安い。

Ta aquo esas/es la maxim pura.

あの水は最も澄んでいる。

Ca buxo esas/es plena de banani.

この箱はバナナでいっぱいだ。

Ca voyo esas/es tro danjeroza.

この道はとても危険だ。

Ilu desegnas la vakua botelo.

彼は空の瓶の図を描いている。

Ta infanto esas/es tam quieta kam muso.

あの子どもはネズミよりも静かだ。

La karno esas/es plu fresha kam la fisho.

その肉は魚よりも新鮮だ。

Mea domo esas/es plu alta kam vua domo.

私の家はあなたの家よりも高い。

Ilua hundo esas/es la maxim feroca en la urbo.

彼の犬は街の中で最も凶暴だ。

Elu esas/es la maxim leda puerino en la butikio.

彼女はその店の中で最も醜い。

Ilu esas/es la maxim povra instruktisto en ca urbo. 彼はこの街の中で最も貧しい教師だ。

La nazo di Jane esas/es plu kurta kam la nazo di Mary. ジェーンの鼻はマリーの鼻よりも低い*2。

Li esas/es la maxim kontenta viri en la drinkerio. 彼らはその居酒屋の中で最も満足している男たちだ。

Ca berjero esas/es plu mola kam ta berjero. この肘掛け椅子はあの肘掛け椅子よりも柔らかい。

Me lektis la maxim interesanta libro en la butiko. 私はその店の中で最も興味深い本を読んだ。

Nia filiino esas/es la maxim inteligenta yuno en ta skolo. 私たちの娘はあの学校の中で最も性的な若者だ。

語彙（建物の名称）

edificio [e-di-FI-co] （建物） arto-galerio （美術館）

balno-baseno （スイミングスクール） biblioteko [bi-blyo-TE-ko] （図書館）

drinkerio [drin-KE-ryo] （居酒屋） fabrikerio [fa-bri-KE-ryo] （工場）

farmo-domo [FARR-mo-DO-mo] （農場の家屋）

incendio-domo [in-CEN-dyo-DO-mo] （消防署） kirko [KIRR-ko] （教会）

policeyo （警察署） posto-kontoro （郵便局） hospitalo （病院）

restorerio [res-to-RE-ryo] （レストラン） urbo-domo [URR-bo-DO-mo] 市庁舎

banko （銀行） butiko （お店） cinemodomo （映画館） hotelo （ホテル）

dometo （小屋） faro （灯台） moskeo （モスク）

palaco （宮殿） muzeo [mu-ZE-o] （博物館） teatro [te-A-tro] 劇場）

gareyo （ガレージ） kafeerio [ka-fe-E-ryo] （カフェ） kastelo [kas-TE-lo] （城）

katedralo [ka-te-DRA-lo] （大聖堂） kazerno [ka-ZERR-no] （兵舎）

kontoro （事務所） laverio [la-VE-ryo] （クリーニング店）

staciono [sta-ci-O-no] （駅・建物および場所） templo （寺院） kapelo （礼拝堂）

skolo （学校）

造語法「-estr」

接尾辞「-estr」は、組織・集団などを表す語根について、その長や指導者を表します。

polico （警察） poliestro （警察署長）

skolo (学校) skolestro (校長)

urbo (市) urbestro (市長)

語彙

al (「a + la」の短縮形) altra (他の、別の) apologiar (弁明する) kom (~のように)

chera (価格が高い) deĵuno (ランチ) esperar (希望する) maro (海)

facar (作る) forsan (おそらく) fru-deĵuneto (朝食)

garsono [garr-SO-no] (給仕) intencar (~するつもりである) ja (すでに)

jeristo (経営者) ĵuar [ju-ARR] (楽しむ) kelka (いくらかの) kelke (ある程度)

komprenar (理解する) kredar (信ずる) omnibuso (バス) lasar (放置する)

falar (落とす) pano (パン) parolar (話す) pasar (通行する)

per [perr] (~を用いて) ĉu? (どんな?) quik (今すぐに) sat (十分に)

sonar (響く) to (あの) telefonilo (電話)

neglijar (無視する、なおざりにする) adibe (そこへ)

会話 (ホテルにて)

J = jeristo (支配人)

M = Sioro Morgan (モルガン氏)

J Bon ĵorno, Sioro Morgan!

こんにちは、モルガンさん！

Me esperas ke vu pasis bona nokto hike en la Rejala Hotelo.

ここロイヤルホテルにて素晴らしい夜をお過ごしになったと思っております。

M Yes, sat bona. Ma la lito ne esas/es tre mola. Olu esas/es kelke harda.

はい、十分でしたね。でも、ベットは柔らかくなかった。ある程度、固かったな。

J Me apologias. Me ne komprenas pro ĉu. Forsan ulu neglijis sua laboro.

お詫びいたします。なぜなのか、分かりません。おそらく誰かが自分の仕事をさぼったのです。

Ni donos a vu altra chambro kun nova lito.

私どもは新しいベットの別のお部屋を用意いたします。

Ka vu ja manjis fru-dejuneto? Me esperas ke vu juis ol.

すでに朝食をお召し上がりになりましたか？お楽しみなっただと思いますが。

M Fakte no!

まったくそうじゃない！

La ovi esis kolda e la garsono lasis falar kelka kafeo sur mea pano!

卵は冷たかったし、ウェーターはパンの上にコーヒーはこぼすし。

Do, me intencas manjar mea dejuno en restorerio.

だから、ボクはレストランでランチを取るつもりだよ。

J Me parolos quik al garsono. Altra garsono servos vu.

すぐにウェーターに話します。他のウェーターがサービスすることでしょう。

M Bone, forsan me manjos hike. Me ne savas. Me vizitas hodie la maro.

よろしい。おそらく、ここで食べるかもしれないな。私はわからない。今日は、海に行くよ。

Me prizas balnar. Me iras de hike per la treno.

水浴びが好きなんだ。列車でここから行きますよ。

J Me kredas ke la treno esas/es chera.

確か、列車は値段が高いと思います。

La omnibuso esas/es plu chipa. Ho! Pardonez a me!

バスのほうがもっとお安いです。ああ！ごめんなさい。

La telefonilo sonas. Til rivido, Sioro Morgan!

電話がなっています。それではまた、モルガンさん！

質問と答え

上記の「会話—ホテルにて」に関する質問です。イド語で答えてみましょう。

01) Quale nomesas la hotelo?

そのホテルは名前はなんですか？

Olu nomesas la Rejala Hotelo.

それはロイヤルホテルといいます。

- 02) Ka Sioro Morgan pasis bona nokto?
モルガンさんは素晴らしい夜をすごせましたか?
Yes, sat bone.
はい、十分、よかったです。
- 03) Quala esis ilua lito?
彼のベットはどうでしたか?
Olu esis kelke harda.
かなり固かったです。
- 04) Quon Sro Morgan manjis kom fru-dejuneto?
モルガンさんは朝食として何を食べましたか?
Ilu manjis ovi.
卵を食べました。
- 05) Kad ilu juis ilua fru-dejuneto?
彼は朝食を楽しめましたか?
No, ilu ne juis ol.
いいえ、楽しめませんでした。
- 06) Qua lasis falar la kafeo sur ilua pano?
誰が、彼のパンの上にコーヒーをこぼしましたか?
La garsono.
ウェーターです。
- 07) Adube Sro Morgan iras hodie?
モルガンさんは今日、どこへ行きますか?
Ilu iras a la maro.
海へ行きます。

- 08) Quon ilu prizas facar?
彼は何をするのが好きなのですか？
Ilu prizas balnar en la maro.
彼は海で水浴びをするのが好きです。
- 09) Quale ilu iras adibe?
彼はそこに、どうやって行きますか？
Ilu iras per la treno.
列車を使って行きます。
- 10) Ka la treno esas/es plu chipa kam la omnibuso?
列車はバスより（料金の値段は）安いですか？
No, plu chera.
いいえ、高いですよ。

よくある質問

- 01) Kad elefanto esas/es plu granda kam muso?
ゾウはネズミより大きいですか？
Yes, multople plu granda kam muso.
はい、ネズミよりも何倍も大きいです。
- 02) Ka muso esas/es plu lejera kam hundo?
ネズミは犬よりも軽いですか？
Yes, plu lejera kam hundo.
はい、犬よりも軽いです。
- 03) Ka hotelo esas/es plu mikra kam domo?
ホテルは家よりも小さいですか？
No, genarale plu granda kam domo.
いいえ、家よりも大きいです。

04) Ka vu esas/es la maxim grava homo en vua domo?

あなたは自分の家の中で最も重要な人物ですか？

Kompreneble, yes!

もちろん、そうです。

05) Ka treno esas/es plu lenta kam biciklo?

列車は自転車よりも遅いですか？

No, treno esas/es plu rapida.

いいえ、列車はもっと速いです。

06) Ka homo esas/es plu forta kam gorilo?

人間はゴリラよりも強いですか？

No, homo esas/es multe plu febla kam gorilo.

いいえ、人間はゴリラよりもかなり弱いです。

07) Ka butro esas/es plu chera kam margarino?

バターはマーガリンよりも値段が高いですか？

Yes, margarino esas/es plu chipa.

はい、マーガリンはもっと安いです。

08) Ka vu preferas pomo kam piro?

あなたは梨よりもリンゴが好きですか？

Yes, pomo kam piro.

はい、そうです。なしよりもリンゴが好きです。

09) Ka la televisiono esas/es plu bona kam la cinemo?

テレビは映画よりもいいと思いますか？

No, kompreninde ne.

いいえ、もちろん、ちがいますよ。

10) Ka vu esas/es la maxim inteligenta homo en vua familio?

あなたは家族の中で最も頭の良い人ですか？

No, regretinde ne.

ちがいますよ、残念ですが、違います。

イド語初級講座 第11課

曜日の名称

日本語	名詞	副詞	副詞句
月曜日	undio [LUN-dyo]	lundie	ye lundio
火曜日	mardio [MARR-dyo]	mardie	ye mardio
水曜日	merkurdio [merr-KURR-dyo]	merkurdie	ye merkurdio
木曜日	jovdio [JOV-dyo]	jovdie	ye jovdio
金曜日	venerdio [ve-NERR-dyo]	venerdie	ye venerdio
土曜日	saturdio [sa-TURR-dyo]	saturdie	ye saturdio
日曜日	sundio [SUN-dyo]	sundie	ye sundio

注意) イド語では英語とは違って、曜日の名称や月の名称で最初の文字は大文字にしません。

語彙

furtisto (どろぼう)

policestro (警察署長) falar (落ちる)

horlojeto (腕時計)
くる)

de (~から・始点、由来を示す) envenar (~から入って)

例文

Ye sundio ni ne laboras.

日曜日に私たちは働きません。

Elu multe prizas mardii.

彼女は火曜日が大好きです。

Lundie me iris a London.

月曜日に私はロンドンに行きました。

Ilu ne venos ye lundio.

彼は月曜日に来ないでしょう。

Me restis en lito jovdie.

私は木曜日にベットにとどまっていた。

Merkurdie me iros a Paris.

水曜日に私はパリへ行くでしょう。

Ka tu kompros la manjajo ye saturdio?

君は土曜日に食べ物を買うでしょう。

Me naskis ye venerdio, la okesma di mayo.

私は5月8日の金曜日に生まれました。

Li desaparís ye jovdio en la cinemo.

彼らは木曜日に映画館の中に消えました。

Ye lundio furtisto pren-ganis la horlojeto di la policestro. 月曜日に、泥棒が警察署長の腕時計を取りま
した。

時間表現（１）

Qua kloko es?	何時ですか？
Es tri kloki.	３時です。
Es un kloko.	１時です。
Es non kloki.	９時です。
Ye un kloko	１時に
Ye sep kloki	７時に

注意)

①時刻の「～時」はイド語で「kloko」で表しますが、２以上の数を伴う時は「kloki」になります。例えば、「１時」は「un kloko」となり、「２時」は「du kloki」、「３時」は「tri kloki」など。

②イド語ではしばしば、２４時間制を使います。例えば、「duadek kloki」（２０時＝午後８時）です。

旅行（LA VOYAJO）

Me arivis a la staciono.

私は駅に到着しました。

La veturo haltis.

車がとまりました。

Portisto advenis.

ポーターがやって来ました。

"Adube vu iras?" ilu questionis.

「あなたはどこへ行くんですか？」と彼は質問しました。

"Me iras a Paris." me respondis.

「パリに行きますよ」と私は答えました。

"Ka vu havas vua bilieto?"

チケットは持っていますか？

- "No!" - "Venez komprar olu en la kontoro."

「いいえ」。「窓口で買いに行きなさい」。

Me pagis la veturisto.

私は運転手に料金を支払いました。

Me donis ad ilu gratifikuro.

チップもあげました。

"Hastez!" klamis la portisto.

「急ぎなさい」ポーターが叫びました。

"La treno departos sen vu."

「列車はあなたがいなくても出てしまいますよ」

"On devas vendar la bilieti plu rapide!"

「もっと急いでチケットを売って！」

Me volus komprar jurnalono.

私は新聞を買いたいし。

Ube esas la jurnal-vendeyo?

新聞売り場はどこですか？

Ho no! Me perdabis mea monetuyo!"

あ、しまった！財布をなくした！」

Esas tri kloki. La treno departas.

3時です。列車は出発します。

Mea kofro esas en la pako-vagono.

私のトランクは荷物車（両）に入っています。

Me dicis en la kordio a mea kofro:

私はこころの中で、私のトランクに向かって言いました。

"Til la rivido!"

「また会う時まで、さようなら」

関係代名詞

イド語の関係代名詞は、英語の関係代名詞と基本構造は同じです。すなわち、2つの文をつなぐ接続詞の役割をします。また、関係代名詞が導く節は名詞（先行詞）を修飾します。日本語には関係代名詞に相当する文法構造はないので、英語との比較で見てください。ただし、イド語の関係代名詞は単数形と複数形があります。

単数形		
イド語	la yunino QUA amoras me	la hundo QUA atakis me
英語	the girl THAT (or WHO) loves me	the dog THAT (or WHICH) attacked me
日本語	私を愛する少女	私を攻撃した犬

複数形		
イド語	la yunino QUI amoras me	la hundo QUI atakis me
英語	the girls THAT (or WHO) loves me	the dogs THAT (or WHICH) attacked me
日本語	私を愛する少女 達	私を攻撃した犬ら

注意点)

- ①英語では複数になる場合でも関係代名詞は変化しませんが、イド語は複数形の関係代名詞があります。
- ②疑問詞と混同しないように気をつけましょう。（英語で疑問詞「what」に相当するイド語は「quo」ですが、疑問詞「who」に相当するイド語は「qua」「qui」になります）。
- ③上記の例で見たように、英語「that」が単数形の先行詞を受ける時、イド語では「qua」になりますが、複数形の先行詞を受ける時は「qui」になります。

関係代名詞が、従属節の中で、目的語になる場合は、その関係代名詞に語尾「-n」をつけます。言い換えると、関係代名詞が対格に変化することになります。英語との比較で考えるとわかりやすいです。

単数形		
イド語	la yunino QUAN me amoras	la hundo QUAN me atakis
英語	the girl THAT (or WHOM) I love	the dog THAT (or WHICH) I attacked
日本語	私が愛する少女	私が攻撃した犬

複数形		
イド語	la yunino QUIN me amoras	la hundo QUIN me atakis
英語	the girls THAT (or WHOM) I love	the dogs THAT (or WHICH) I attacked
日本語	私が愛する少女 達	私が攻撃した犬ら

上記の英文で関係代名詞「whom」が使われる場合と似ています。ただし、現代の英語ではこの場合でも「who」を使っても間違いではありません。

注意点)

④英語の場合、関係代名詞 (whom, who, that) は省略されることが多いです。

しかし、イド語ではその関係代名詞は省略することはできません。

⑤英語で「that」は関係代名詞ではなく、「接続詞」として使われることがあります。接続詞「that」に相当するイド語は「ke」です。これは、主節の動詞が、従属節の文の要素に関係を及ぼさないときに使われます。

英語 He says that he is ill.

イド語 Ilu dicas 'ke' ilu esas/es malada.

日本語 彼は、彼が病気だと言った。

例文

Quo eventis?	何があったの？
Qui parolis?	誰（複数）が話したのですか？
Qua esas ibe?	そこに誰がいますか？
Quin vu vidas?	あなた方は誰（複数）を見たのですか？
Quon ilu dicis?	彼はなんと言いましたか？
La viro qua parolis.	話していた男
La viri qui parolis.	話していた男の人たち
La viro quan vu vidis.	あなたが見た男の人
La acidenti qui eventis.	起きてしまった事故
Me ne audis (to) quon ilu dicis.	私は彼が話していたことを聞いていなかった。

注意)

「Qua」は形容詞としても使われます。

Qua viro parolis? どの男の人が話したのですか？

このことについては「イド語初級講座 第12課」で学ぶ予定です。

語彙

avertar (～に警告する) avulo (祖父) danjero (危険) kurar (走る)

kustar (費用がかかる) lago (湖) linguo (言語) mashino (機械)
 navo (船) oldo (老人) plura (複数の) posho (ポケット)
 pri (~について) quante? (どれくらいですか?・量) stacar (立っている)
 staceskar (立ちあがる) stranja (奇妙な) tante (そのように)

例文

La yunini quin ilu amas.	彼が愛する少女たち
La mashino quan me vidis.	私が見た機械
La yunini qui amas ilu.	彼を愛する少女たち
La lagi quin elu prizas.	彼女が好きな湖 (複数)
La mediko qua habitas hike.	ここに住んでいる医者
La linguo quan ilu parolas.	彼が話している言語
La olda viro qua dormas hike.	ここで寝ている老人
La policisto qua kuras.	走っている警察官
La furtisto qua staceskas.	立ち上がる泥棒
La automobilo quan la soldato kompris.	兵士が買った車

例文

La stranja homi qui staceskis esis policisti.	立ち上がった奇妙な人たちは警察官でした。
La oldo qua stacis sur la tablo falis.	そのテーブルの上で立っていた老人が落ちました。
La mashino quan ilu kompris kustis multa pekunio. し	彼が買った機械は高額な費用がかかりました。
Me ne deziras parolar linguo qua esas/es tante leda. ませ	私はそのような醜い言語を話したくありません。
Elua onklulo qua naskis en Derby havis plura hundi. の	ダービーで生まれた彼女の叔父は何匹か犬を買っていました。
Balde me vizitos mea avulo qua habitas en York. 問し	すぐに私はヨークに住んでいる祖父を訪めます。
Me ne kuros a mea patro qua falis aden la aquo. けて	私は水に落ちた自分の父のところへはか行かないだろう。
La navo quan ni deziris vidar iras alonge la rivero. ると	私たちが見たかった船が川沿いに来ていこころです。
Quante kustis la libri quin tu havas en tua posho?	君のポケットの中にある本はいくらでし

たか？

Ilu avertis la yuni qui natis en la lago pri la danjero.
に

彼はその湖で泳いでいた若者たちに危険
ついて警告をしました。

Ilu avertis la yuni pri la danjero, li-qui natis en la lago.
ちを

彼は危険だと（湖で泳いでいた）若者た
注意しました。

国の名称

イド語では、国や大陸の名称に関して、「全ての単数名詞は語尾が『-o』になるという規則」からの例外になります。それは、国際的な名称の傾向に近づけるためです。

イド語で国家名称を表記する時の形態は、次のようなグループの中にあります。

①かなりの国の名称は、国際的なローマ字表記において「-a」「-ia」という語尾になっています。

Italia (イタリア) Amerika (アメリカ) Yugoslavia (ユーゴスラビア)¹

Austria (オーストラリア) Andora (アンドラ) Angola (アンゴラ)

Chinia (中国) Japonia (日本)

②最近の新興国を含む多くの国は、自分たちの国家名称で全世界に知られています。まるで語尾「-ia」があるかのように、その最後の音節にアクセントがあります。

Peru [pe-RU] (ペルー) Portugal [porr-tu-GAL] (ポルトガル)

Pakistan [pa-kis-TAN] (パキスタン) Viet Nam [vyet-NAM] (ベトナム)

Chili [CHI-li] (チリ)²

③「-land」で終わる国名は通常、「-o」語尾をつけます。

Finlando (フィンランド)

語彙

aero (空気) aranjar (整える) bone (よく) bonega (すばらしい)

explorar (探検する) gareyo (ガレージ) Idisto (イド語の話者) maro (海)

monto (山) mostrar (示す) natar (泳ぐ) omno (すべてのもの)

1 Yugoslavia (ユーゴスラビア、1929-2003) はすでに国家としては存在しておらず、歴史的な名称になっています。

2 Chili は、最後の音節が「-i」なので、第一音節にアクセントがあります。

の)

opinionar (～の意見である) pluvo (雨) proponar (提案する)
restar (残る)

to (それ・代名詞) vakanco (休暇) vento (風) vera (本当の)

varmeta [varr-ME-ta] (温暖な、ぬるい) vidajo (光景) vojajo (旅行)

quale (～のような) quala (～のような・名詞の前で)

Anglia (英国) Dania [DA-nya] (デンマーク) Hispania [his-PA-nya] (スペイン)

Portugal (ポルトガル) Suedia [SWE-dya] (スウェーデン)

Suisia [SWI-sya] (スイス) Suisa [SWI-sa] (スイスの)

Suisiano [swi-si-A-no] (スイス人)

「pensar」「opinionar」「kredar」について

以下の3つの単語は、日本語で「思う」と翻訳できるものです。

「pensar」は、頭脳を使って「思う」「考える」という意味です。

Me pensas pri Jane. 私はジェーンについて考えました。(ジェーンのことを思った)

「opinionar」は、「思う」「ある意見をもっている」という意味です。

Me opinionas ke elu esas/es bela. 私は、彼女は美しいと思います。

「kredar」は、「思う」「信じている」という意味です。

Me kredas ke la buxo esas/es vakua. 私は、箱は空っぽだと信じています。

会話 (休暇はどこへ行く?)

P = Peter (ペーター) M = Mary (マリー)

P Adube ni iros dum la vakanco?

僕達は休暇中、どこへ行きますか?

M Ni certe ne restos en Anglia.

私たちは、イギリスに残らないことは確実です。

Me ne prizas la pluvo e la vento.

私は雨や風が好きではないわ。

Me multe preferas la suno.

太陽のほうが大好き。

Ni iros a varma lando quala Hispania o Portugal.

私たち、スペインやポルトガルのような温かい国に行きます。

P Ta landi esas/es por me tro varma.

その国は、私にとっては暑すぎ。

Me preferas varmeta lando quala (ne quale) Suedia o Dania. [quale on preferas ...]

私はスイスやデンマークのような温暖な国の方が好きです。(他の人と同じように…)

La vetero povas esar bonega ibe.

そこは、天候はいいのかもしれませんが。

M Quon tu opinonas pri voyajo en la monti?

あなたは山での旅行についてどう思う？

La fresha aero, la foresti, la bela vidaji.....

新鮮な空気や、森や、美しい景色…

P No, me preferas la maro.

いいえ、私は海の方が好きだよ。

Me deziras natar.

泳ぎたいんだ。

M Ma, tu povas natar en la lagi.

でも、湖で泳げるわ。

P To esas/es vera.

本当だ。

Yes, bone, ni exploros la monti.

いいね。私たちは山の探検に行くよ。

M A qua lando ni iros?

どの国へ、行こうか？

P Me proponas Suisia.
スイスを提案します。
Es multa Idisti en Suisia.
スイスには大勢のイディスト（イド語話者）がいるんだよ。
Multi de li esas/es bona amiki.
ほとんどが良い友達だ。
Me aranjos omno.
ボクが全部、企画するよ。
La Suisiana Idisti montrons a ni sua bela lando.
スイスのイディスト（イド語話者）は自分たちの美しい国を見せてくれるよ。

質問と答え

上記の「会話一休暇はどこへ行く？」に関する質問です。イド語で答えてみましょう。

- 01) A qua Peter parolas?
ペーターは誰に話していますか？
Ilu parolas a Mary.
彼はマリーに話しています。
- 02) Ka Mary prizas pluvo?
マリーは雨が好きですか？
No, elu ne prizas olu.
いいえ、彼女は嫌いです。
- 03) Quon elu preferas?
彼女は何の方を好んでしますか？
Elu preferas la suno.
彼女は太陽の方を好んでいます。
- 04) Ka Hispania esas/es kolda lando?
スペインは寒い国ですか？
No, olu esas/es varma lando.

いいえ、暖かい国です。

05) Ube esas/es la fresha aero?

新鮮な空気はどこにありますか？

Olu esas/es en la monti.

山にあります。

06) Ka Peter prizas natar?

ペーターは泳ぎが好きですか？

Yes, multe.

はい、大好きです。

07) Quon Peter e Mary exploros?

ペーターとマリーは何を探検しますか？

Li exploros la monti.

彼らは山を探検します。

08) Adube li iros?

彼らはどこへ行きますか？

Li iros a Suisa.

彼らはスイスに行きます。

09) Qua aranjos la vakanco?

誰が休暇を企画しますか？

Peter aranjos omno.

ペーターが全部企画します。

10) Qui montros Suisia a Peter e Mary?

誰がペーターとマリーにスイスを案内してくれますか？

La Idisti di Suisia.

スイスのイド語の話者たちです。

一般的な質問と答え

- 01) Adube vu iros dum la vakanco?
あなたは休暇中、どこへ行きますか？
Me iros a Grekia.
ギリシャに行きます。
- 02) Ka vu prizas la suno?
太陽は好きですか？
Yes, nam me esas nordala Europano.
はい、好きです。北ヨーロッパ人なので。
- 03) Ka la fresha aero esas/es bona por vu?
新鮮な空気はあなたのためになりますか？
Yes, tre bona por me.
はい、とてもいいです。
- 04) Ka vu parolas multa lingui?
あなたは多くの言語を話しますか？
Yes, me bezonas parolar multa lingui.
はい。私は多言語を話す必要があるのです。
- 05) Ka vu havas botelo de lakto en vua posho?
あなたのポケットの中には牛乳ビンがはいていますか？
No, sur la tablo.
いいえ。テーブルの上にあります。
- 06) Ka sep e non esas/es dek?
7足す9は10ですか？
7+9=10? No, to esas/es dek-e-sis.
7プラス9イコール10ですって？いいえ、16ですよ。

07) Ka vua automobilo esas/es en la staciono od en la gareyo?

あなたの車は駅にありますか、それともガレージですか？

En mea gareyo.

ガレージの中にあります。

08) Ube vu sidas?

あなたはどこに座っていますか？

En la berjero (arm-chair).

肘掛け椅子です。

09) Ka vu intencas manjar balde?

あなたはすぐ食事をしようとしていますか？

Yes, nam mea laboro nun fineskas.

はい、そうです。仕事が終わったから。

10) Ka vu skribas a plura Idisti?

あなたは何人かのイド語の話者たちに手紙を書きますか？

Yes, specale ad Idisti en USA.

はい、書きます。特に米国のイディストたちに。

イド語初級講座 第12課

助動詞と準助動詞語の否定表現

イド語の否定表現の場合には通常、動詞の前に否定の副詞「ne」をつけます。しかし、助動詞が関係する限り、英語表現にはないイド語独自のニュアンスと特別なスタイルがあるので、特に注意する必要があります。

mustar について

mustar	無制限、無条件かつ強制的な必要性を表現する
NE + mustar	必要のないことを表す
mustar + NE	強い禁止を表す

Vu NE mustas acendar alumeto, nam me povas vidar suficante bone.

あなたはマッチで火をつける必要はありません。（明るいので）十分に見ることができるからです。

Vu mustas NE acendar alumeto, nam la chambro esas/es plena de gaso.

あなたは絶対にマッチで火をつけてはいけません。部屋はガスが充満しているからです。

devar について

Devar	慣習的にあるいはその他の強いられるすべてのものに適用される
NE + devar	義務を負っていないことを表す
devar + NE	禁止を表す

Me NE devas helpar vu.

私はあなたを助ける義務はありません。

Vu devas Ne adulterar.

あなたは姦淫してはいけません。

darfar について

darfar	禁止の概念に対して、権利もしくは許可があることを表す
NE + darfar	禁止を表す
darfar + NE	～しなくてもかまわない、という意味。許可されていることの表現

audacar について

audacar あえて～する

Me NE audacas informar ilu pri la mala nuntio.

彼はその悪いニュースについてあえて彼に伝えません。

Elu audacis NE askoltar mea konsilo.

彼女は私のアドバイスをあえて無視しました。

造語法 「-eg-」 「-et-」

「-eg-」は、語根語のサイズや強度を増大させる接尾辞です。

bona (良い)	bonega (すばらしい)
varma (温かい)	varmega (熱い)
domo (家)	domego (大邸宅)
dormar (眠る)	dormegar (熟眠する)

「-et-」は、語根語のサイズや強度を減少させる接尾辞です。

varma (温かい)	varmeta (ぬるい)
domo (家)	dometo (小屋)
dormar (眠る)	dormetar (まどろむ)
ridar (笑う)	ridetar (ほほえむ)
forko (くまで、ガーデンフォーク)	forketo (フォーク)

時間表現 (2)

これまで、「何時何分」の「時」だけを学んできましたが、「分」の言い方を学びましょう。

6時5分	06:05	sis kloki kin
6時25分	06:25	sis kloki duadek e kin
6時50分	06:50	sis kloki kinadek
3時30分	03:30	tri kloki e duimo
1時15分	01:15	un kloko e quarimo
1時45分	01:45	un kloko e tri quarimi

上記の例から分かるように、分は「時」の後にそのまま追加することで、表現されます。英語のよう

に「Minutes to the hour」（何時何分前）という表現はイド語では使われません。

「～時半」「～時30分」という場合、イド語では「e duimo」を使います。

4時半 quar kloki e duimo

5時半 kin kloki e duimo

「kin kloki duimo」のように「e」をつけないと、5時30秒（＝1分半）と誤解されるかもしれません。

「quarimo」（4分の1＝15分）という表現を使えば、15分単位での時刻を表現できます。

6時15分 sis kloki e quarimo

6時45分 sis kloki e tri quarimi

例

2:05	2時5分	du kloki kin
3:40	3時40分	tri kloki quaradek
17:00	17時	dek e sep kloki
14:47	14時47分	dek e quar kloki quaradek e sep
02:00	2時	du kloki
09:05	9時5分	non kloki kin
06:15	6時15分	sis kloki e quarimo
06:45	6時45分	sis kloki e tri quarimi
10:35	10時35分	dek kloki triadek e kin
06:53	6時53分	sis kloki kinadek e tri

疑問形容詞としての「qua」

「qua」はこれまで見てきたように、英語の「who」「which」「that」に相当します。しかし、「qua」には、もうひとつの用法があります。単数形の名詞または複数形の名詞の前に、「qua」が置かれると、その意味は英語では「what?（何の?）」「which?（どのような?）」というような疑問関係詞になります。例えば、

Qua hundo?	What dog/ Which dog?	どんな犬? / どの犬?
Qua hundi?	What dogs/ Which dogs?	どんな犬たち? / どの犬たち?

「qua」 「qui」 「quo」 のまとめ

疑問形容詞として	
単数形	複数形
Qua viro venas?	Qua viri venas?
どんな人が来ましたか？	どんな人たちが来ましたか？

疑問詞として	
単数形	複数形
Qua venas?	Qui venas?
誰が来ましたか？	誰（複数）が来ましたか？

疑問詞として
単数 / 複数
Quo venas?
何が来ますか？

関係詞として	
単数形	複数形
La viro qua venas	La viri qui venas
来る男	来る男たち
La treno qua iras	La treni qui iras
行く列車	ゆく列車

天候

天候に関するイド語の動詞は非人称です。英語の「」は實際上、何かを言及するものではありませんし、他の単語でイド語に翻訳してはいけません。エスペラント同様に、無主語の動詞となります。

Pluvas (雨が降る) Nivas (雪が降る) Frostas (凍てつく)

pluvo (雨) nivo (雪) frosto (厳寒)

Ventas (風が吹いている) Pruinas (しもが降りている)

vento (風) prunio (霜)

語彙

agnoskar (承認する)	ankore (まだ、いまだ)	audar (聞く、聴こえる)
avino (祖母)	cayare (今年に)	danko pro (~してくれてありがとう)
decidar (決める)	divenar (~になる)	ecepte (除いて)
esforcar (努力する、努める)	fortunoza (幸運な)	fotografuro (写真)
gambo (脚、下肢)	ja (すでに)	hospitalo (病院) infanteto (赤ん坊)
invitar (招待する)	kozy (事)	kara (親愛な) kuzo (従兄弟)
loko (場所)	mortar (死ぬ)	nomo (名前) omni (みんな)
pluvar (雨が降る)	post-karto (はがき)	praktikar (実践する) prezente (現在)
respondo (返事)	se (もし)	ruptar (破る) saluto (挨拶)
Skotia (スコットランド)	trista (悲しい)	til nun (これまで) vakance (休暇に)
venonta yaro (来年)		

Letro ad Amiko (友への手紙)

La 27ma di agosto

8月27日

Kara Maria

親愛なるマリアへ

Danko pro la interesanta letro e la bela post-karti quin tu sendis a me.

私宛の興味深いお手紙と美しいハガキ、ありがとう。

Me esas/es tre trista audar ke tua avino ruptis gambo kande elu esforcis klimar Blanka Monto cayare.

君のお祖母さんが今年、モンブランに登山しようとした時に骨折したと聞いて、とても悲しい。

Elu esas/es tre fortuneza ke elu ne mortis.

亡くならなかったことはとても幸運なことですね。

Me havas kuzo qua deziras divenar klimero, ma prezente ilu nur evas ok yari.

私には登山家になりたがっている従兄弟がいますが、彼は現在のところたった10才ですよ。

Ilu praktikas sur la muro en la gardeno. Til nun ilu ne falis.

庭の壁の上で練習をしています。これまで、落ちたことはありません。

Adube tu iros vakance en la venonta yaro?

来年のバカンスは、君はどこへ行くのかな？

Se tu ne ja decidis, me invitas tu a Skotia.

まだ決めてなかったら、君をスコットランドに招待します。

Ofte pluvas hike en Skotia, me agnoskas to, ma esas/es multa interesanta loki e kozi quin ni povos vidar.

ここスコットランドでは時々、雨が降るということは認めるけど、面白い場所や見るべきものがたくさんあります。

Ni certe vizitos Edinburgh.

きっと、エジンバラにも訪れます。

Tu volis vidar mea familio. Do me sendas a tu fotografuro.

君はボクの家族に会いたかったね。だから、写真を送ります。

Tu ja konocas la nomi di omni ecepte la infanteto qua nomesas Paul.

君はもう、ポールという赤ん坊を除いては、全員の名前は知っているね。

Skribez balde tua respondo. Mea saluti a tua avino e la familio.

すぐに、お返事下さいね。お祖母さんとご家族によろしく。

Tua amiko, Roger

君の友、ロジャーより

語彙

quala? (どんなもの・ひと?) renkontrar (出会う) abonar (予約する、購読する)

revuo [RE-vwo] (専門雑誌) membro (構成ん) societo (社会、団体)

libro-listo (図書リスト)

「友への手紙」に関する質問と答

01) Quala esas/es la post-karti de Maria?

マリアからのハガキはどんなものですか？

Ol esas/es interesanta.

興味深いものです。

02) Qua ruptis gambo?

誰が骨折したのですか？

Avino di Maria.

マリアのお祖母さんです。

- 03) Quon elu klimis?
彼女はどこに登ったのですか？
Elu klimis Blanka Monto.
モンブランに登りました。
- 04) Kad elu mortis?
それで彼女は死にましたか？
No, fortuneoze elu ne mortis.
いいえ、幸いにも彼女は死にませんでした。
- 05) Qua deziras divenar klimero?
誰が登山家になりたいのですか？
Kuzo di Roger.
ロジャーの従兄弟です。
- 06) Quante ilu evas?
彼は何歳ですか？
Ilu evas ok yari.
彼は10歳です。
- 07) Sur quo ilu praktikas?
彼は何の上で練習をしますか？
Sur la muro en la gardeno.
庭の壁の上です。
- 08) Kad ilu falis?
彼は落ちたことがありますか？
No, til nun ilu ne falis.
いいえ、いままで、落ちたことはありません。

- 09) Se Maria venos a Skotia, kad elu e Roger vizitos Edinburgh?
マリアがスコットランドに来たら彼女とロジャーはエジンバラを訪問しますか？
Ho, yes.
おー、そうですね。
- 10) Quon Roger sendas a Maria?
ロジャーはマリアに何を送りましたか？
Fotografuro di/pri la familio di Roger.
ロジャーの家族の写真です。
- 11) Quale nomesas la infanteto?
その赤ん坊の名前は？
Lu nomesas Paul.
ポールです。
- 12) Quon Roger esperas recevar balde?
ロジャーはすぐに何を受け取りたいと思っていますか？
Respondo de Maria.
マリアからの返事です。

一般的な質問

- 01) Ka vu parolas Ido bone?
あなたはイド語を上手に話しますか？
Yes, nam Ido esas/es marveloze facila.
はい、そうです。イド語はびっくりするくらい簡単だからです。
- 02) Ka vu ofte lektas Ido?
あなたはよく、イド語を読みますか？
Yes, me prizas lektar libri en Ido.

はい、私はイド語で本を読むのが好きです。

03) Ka vu povas skribar Ido?

あなたはイド語を書くことができますか？

Komprenende yes ed anke devas me.

もちろんできますし、また書かなければなりません。

04) Ka vu skribas ad Idisti en altra landi?

あなたは別の国のイディスト（イド語の話者）に（たよりを）書きますか？

Yes, kelkatempe.

はい、ときどき書きます。

05) Ka vu renkontras altra Idisti?

あなたは他のイド語話者たちと会いますか？

No, tre rare. Nam ne esas multa Idisti.

いいえ、めったに会いません。イド語の話者はたくさんいませんからね。

06) Kad esas/es multa Ido-libri en vua domo?

あなたの家に、イド語の本はたくさん、ありますか？

No, nur kelka libri che me.

いいえ、私の家には数冊しかありません。

07) Ka vu kompros altra Ido-libri?

あなたは別のイド語の本を買いますか？

Yes, me intencas komprar oli.

はい、買うつもりです。

08) Ka vu havas libro-listo?

あなたは書籍のリストを持っていますか？

Yes, la listo de Cardiff.

はい、もっています。カーディフ*1 のリストです。

09) Ka vu abonis Ido-revui?

あなたはイド語の専門誌を購読していますか？

Yes, kelka revui.

はい、何冊か購読しています。

10) Ka vu esas/es membro dil Ido-Societo?

あなたは、イド語協会の会員ですか？

Yes, membro di Franca Ido-Societo.

はい、そうです。フランスのイド語協会の会員です。

De certena lektolibro (ある読本より)

Lektajo 01 (読み物 01)

La jorno e la nokto. La somero e la vintro.

昼と夜。

夏と冬。

La vorti e la frazi.

語句と文。

Un homo havas un boko e du oreli.

一人の人間は一つの口と二つの耳を持っている。

Du homi havas du boki e quar oreli.

二人の人間には、二つの口と四つの耳がある。

Un manuo havas kin fingri.

一つの手には五本の指。

Du manui havas dek fingri e povas aplaudar altri.
る。

二つの手は10本の指をもち、他人と握手ができる。

Granda e mikra. Multa o poka.

大と小。多あるいは少。

Bela o leda. Mea amiko havas du granda domi.
いる。

美しくは醜。私の友は二軒の大きな家を持っている。

Multa domi havas poka pekunio.

多数の家では、わずかのお金しかない。

Li havas bela flori en la gardeno.

彼らには、庭に美しい花がある。

Il havas altra laboro.

彼には別の仕事がある。

Lektajo 02 (読み物 02)

Ante parolar on devas pensar.

考える前に人は考えなければならない。

Me volas lernar la linguo Ido.

私はイド語を学びたい。

Tu venas por laborar.

君は働くために来る。

Adube tu volas irar?

君はどこへ行きたいのか？

Me volas kelke promenar.

私は少し散歩をしたい。

Singla homo havas nur un boko por parolar, ma du oreli por audar.

めの

各々の人は話すために一つの口だけしかないが、聞いた二つの耳を持っている。

La infanti sekrete ludas dop la domo. Quon facas la genitori?

のか？

子どもたちは秘密で家の裏で遊ぶ。両親は何をしている

La patro skribas plura letri e la matro lektas bela libro.

む。

父親は何通かの手紙を書き、母親は美しい本を読む。

Lektajo 03 (読み物 03)

Li ne esas hike. Tu ne esas ibe. Ube ilu esas? Ni ne savas. Vi promenas ofte.

彼らはここにいない。君はここにいない。彼はどこにいるのか？ 私たちは知らない。あなた方はしばしば散歩する。

Me ne esas en la domo. Kad ilu komprenas to? No, ilu ne komprenas.

私は家の中にいない。彼はそれを理解しているのか？彼は理解してない。

Ka la infanti ploras? No, li ne ploras, kontree li ridas.

子どもたちが泣いているのか？彼らは泣いておらず、反対に笑っている。

Kad omna homi esas kontenta? No, nur tre poka homi esas kontenta.

全ての人たちは満足しているのか？いいえ、ほんの僅かな人たちしか満足していない。

Komprero: "Ica piri ne esas manjebla, li esas acerba."

買い手：「この梨は食べられたもんじゃない。これらは酸っぱい。」

Vendisto: "Yes, me savas lo, ma me ne manjas li, me vendas li."

売り手：「はい、分かっているけど、私はそれを食べない。私がそれを売っているのだから。」

"Neteso esas tre importanta. Me balnas omnayare adminime unfoye, tote indiferenta kad [lo] esas necesa o ne."

「清潔さはとても重要だ。私は一年間で少なくとも一度は、沐浴するが、それが必要なのかどうかは全くどうでもいいことだ」

Lektajo 04 (読み物 04)

Mea kuzino havas tri kati, elu multe amas li.

私の従姉妹は3匹のネコを飼っており、とても愛している。

Ilu ne pluse parolas kun elu.

彼は彼女とこれ以上、話さない。

Karlo havas du bela libri, lu ofte lektas oli.

カルロはキレイな本二冊を持っており、彼はしばしば、それを読んでいる。

Ka vu savas Ido? - No, ne ja (=ankore ne), ma me lernas ol.

あなたはイド語ができますか? いいえ、まだですが、学んでいます。

Viri e mulieri esas/es en la restorerio, ili drinkas vino, eli drinkas kafeo kun lakto.

(大人の)男女がレストランにいる。男らはワインを飲み、女性らはミルク入りのコーヒーを飲んでいる。

Gasto Pro quo en ica urbo la reda vino esas/es plu chera kam la blanka?

お客 この街では、どうして白ワインよりも赤ワインのほうが安いんですか?

Restoristo Ka vu opinionas ke ni recevas la farbo gratuite?

レストランの主人 あんたは、私たちが、ただで着色料をもらっていると思っておいでですか?

Me ne povas dicernar vua jemeli, quankam me vidas li omnadie.

私はあなたの双子を毎日、見ているけれども、見分けられない。

Ma esas/es ya tre simpla, la una nomesaas Henriko, e la altra nomesas Alberto.

いや、実に簡単だよ。一人はヘンリーコという名前で、もう一人はアルベルトと言うんだよ。

(Ma esas/es ya tre simpla dicernar mea jjemeli, Henriko e Alberto.)

(でも、私の双子たちを見分けるのは簡単。ヘンリーコとアルベルトでしょ。)

Lektajo 05 (読みの物 05) --- parenti (親戚)

La vorti di la frazo. (文章の単語)

Mea patro evas quaradek yari. Tua biciklo esas/es ankore nova.

私の父は40歳です。キミの自転車はまだ新しい。

Me ne havas tempo por vizitar vu che vua domo.

私は、あなたの家にあなたを訪問する時間がない。

La pordo di la domo esas/es klozita. Ni volas nun parolar pri nia linguo Ido.

家のドアが閉まっている。私たちは今、私たちのイド語について話したい。

Via genitori prestis a me parapluvo.

あなた達の両親は私に雨傘を貸してくれた。

Li sendas pekunio per la postoj al liaj parencoj. Elu ne volas dicar olu al ilu.

彼らは自分たちの親戚に郵便でお金を送る。彼女は彼にそのことを話したくない。

A qua apartenas ĉi tiu krayono? Me ne savas a qua olu apartenas.

この鉛筆は誰のものですか？私はそれが誰のものか知らない。

Ni vidas la florojn de la ĝardeno. Ilua bona patro estas/es ja mortinta.

私たちはその庭の花を見ている。彼の人の良き父親はすでになくなっている。

Patro: "Ka tu nun savas pro kio me batas tu?"

父「お前は、私がなぜお前を叩いているのを知っているのか？」

"Yes", singlutas (sobs) Pauleto, "pro ke tu estas/es plu forta ol mi."

「はい」とパウレットとすすり泣いている。「父さんがボクより強いからです。」

Rezumo de la Reguloj pri la Puntizado (句読法の要約)

La punto (.) uzas por separar la frazojn;

ピリオド (.) は文章を分離するために使われる

komo (,) por separar la propoziciojn;

コンマ (,) は、節を分離するためのもの

la punto komo (;) por separar frazojn gramatikale nedependantajn, ma ligitajn per la senco;

セミコロン (;) は、文法的に独立していない文章を分離するためのものだが、意味はつながっている

la bipunto (:) por anonci klarigojn aŭ citaĵojn;

コロロン (:) は、説明や引用であることを知らせるためのもの;

la klamo-punto (!) pozas post frazo klamanta;

感嘆符 (!) は、感嘆文の後に置かれる;

la question-punto (?) pozas post propozicio direktan questionanta (ne post propozicio subordinita).

疑問符 (?) は、直接疑問文の後に置かれる (従属節の後には置かない)

La cito-hoketo (" ") uzas por inkluzi omnan citaĵojn.

引用符 (" ") は、すべての引用を包含するために使われる

La parentezoj () inkluzas frazojn aŭ vortojn separatajn de la cetera teksto;

括弧 () は、他の文から分離される文や単語を包含する

La kramponoj [] ed embraciloj { } havas analogajn rolojn;

角括弧 (ブラケット) [] と、波括弧 (ブレース) { } は、類似した役割を持っている;

un embracio { } juntas plurajn liniojn (dextre) al unu (sinistre).

一つの波括弧 { は、最初の括弧（左側の括弧）に対して（右側に）複数の行をつなぐ

La streketo (-) unionas la parti di vorto kompozita;

ハイフン（ - ）は、合成された単語の部分を統合する；

olu indikas anke la seko di vorto inter du linei.

これは、二つの系統の間に単語の切れ目も包含する

La streko (--) indikas chanjo di parolanto; olu devas sempre uzesar en dialogi.

ダッシュ（ -- ）は、話し手の変更を示す；これは常に対話の中で使われる

On ne darfas uzar olu vice la parentezi, o vice la puntaro.

これを括弧の代わりや、ピリオド類の代わりに使ってはいけない。

La puntaro (...) indikas interrupto di la penso.

三点リーダー（ ... ）は、概念の中断を示します。

L'alineo indikas chanjo di temo o nova ordino di pensi.

改行は、テーマの変更もしくは概念の新しい配列を示す。

La noti (infre di la pagini) devas referesar per numeri (ne per steli, kruci, etc.)

（そのページの下方にある）注釈は、数字を用いて引用されなければならない（星印やバツ印などを用いない）

目次

はじめに.....	2
prefaco.....	3
イド語初級講座 第00課.....	1
アルファベット.....	1
子音.....	1
母音.....	1
二重母音.....	2
アクセント.....	2
イド語アルファベットの名称.....	3
さあ、始めましょう！.....	4
イド語初級講座 第01課.....	5
名詞.....	5
不定冠詞.....	5
定冠詞.....	5
es 動詞.....	5
動詞ー現在時制.....	6
接続詞「ed / e」.....	7
イド語初級講座 第02課.....	9
形容詞.....	9
否定.....	10
派生 形容詞から名詞へ.....	10
イド語初級講座 第03課.....	14
疑問文.....	14
複数.....	15
命令形.....	17
イド語初級講座 第04課.....	19
造語法「-in-」「-ul-」.....	19
所有.....	21
量.....	21
会話.....	23
イド語初級講座 第05課.....	26
人称代名詞.....	26
再帰代名詞は「su」.....	27
時制.....	27
動詞.....	28
手紙.....	30
造語法「-er-」「-ist-」「-ism-」「-an-」「-ier-」.....	31
単一の文法的性の単語.....	32
造語法「-id-」「bo-」.....	32
副詞.....	33
会話 En la butiko（お店にて）.....	34
イド語初級講座 第06課.....	36
疑問代名詞（その1）.....	36
数詞.....	36
造語法「-ey-」.....	37
造語法「-uy-」.....	37
造語法（ニュアンスを伴う形容詞）.....	39
物語 Mea Patro（私の父）.....	40

イド語初級講座 第07課.....	44
動詞一未来時制.....	44
基数.....	45
「amoras」と「amas」。「per」の意味。「pantalono」について。.....	47
造語法「-il-」.....	48
会話 Sur la strada（ストリートにて）.....	49
イド語初級講座 第08課.....	54
序数.....	54
造語法「-eri-」.....	55
疑問代名詞（2）対格.....	56
「incendio」と「fairo」、「konocas」と「savas」、「evar」、「quanta?」と「 quante?」.....	58
イド語初級講座 第09課.....	64
造語法 des-.....	64
不定詞.....	65
3種類の不定詞.....	65
Rakonto por Infanti（子どものための物語）.....	69
敬称「Sioro」「Siorulo」「Siorino」など.....	71
イド語初級講座 第10課.....	74
所有代名詞.....	74
仮定法（接続法）.....	74
形容詞の比較表現.....	76
会話（ホテルにて）.....	79
イド語初級講座 第11課.....	85
曜日の名称.....	85
旅行（LA VOYAJO）.....	86
関係代名詞.....	87
国の名称.....	90
会話（休暇はどこへ行く？）.....	92
イド語初級講座 第12課.....	98
助動詞と準助動詞語の否定表現.....	98
造語法「-eg-」「-et-」.....	100
時間表現（2）.....	100
疑問形容詞としての「qua」.....	101
天候.....	102
Letro ad Amiko（友への手紙）.....	103
De certena lektolibro（ある読本より）.....	108